

日光紀行(前) 骨皮道人

表に出れば案内者の欠伸をしては待たず見れば...

必に上下ちよん詰の案内者... 骨皮道人

輻輳して客を待つ細工店... 日光紀行(前)

案内者をして其券を買しめたるの後道に左に取...

矢の如くうかゝる公園地... 日光紀行(前)

既にして旅店に歸り一浴汗を拭ひ去りて二階に昇...

園はすの人あり其中夜もいたく更けたれば道人は...

向島の萩の園... 日光紀行(前)

由平尾氏遊覧と祝せざるを得ず... 日光紀行(前)

一睡に付金四錢但四級品若くは五級品にして...

彫刻競技會開場... 日光紀行(前)

左に列記する諸氏は孰れも當時の實業界中に於て...

謝辞

兵庫小物屋町 喜多 甚七君 岩代郡山町 橋本 喜三郎君 飛州高山町 日下部 兵衛君

本組合事務

去月廿九日午後四時より日本橋俱樂部に於て役員會を開き左の件を議せり
一本組合事務所を日本橋區榮町四十五番地へ移轉の件
一五二會東京本部より當小問物部に対し三十年度經費支出の概算會に付矢張廿九年度の例を以て支出する事に議定す

美術工芸品調査の審査

臨時博覽會事務局は出品の資料に供すべき見込を以て本年五月中美術工芸品の調査(提出期限本年七月三十一日)を審査集せしに美術工芸品の調査委員百三十五人(彫刻二百四十八名八月五日第十二部第十五部及室内裝飾繪畫の調査委員)を以て該調査の審査を遂げしに同局出品の資料に供すべき價值あるもの一も之なしと雖も用意又は意匠の點に於て稍の優るべきもの十三点を選出し之に相當の賞金を付與する事に決したりと云ふ

米國渡遊中の前田氏

前田正名氏は加奈院及び米國渡航以來の所に歡迎せられ殊に加奈院各府巡視中は同地の大官紳士等非常なる歡迎をなし加ふるに鐵道運賃及旅費等一切の有志者にて負擔せんと申出たりしに氏は固く辭して其厚意を謝し各所を巡り夫より米國に着するや氏渡水の事早くも其到着前に各新聞紙に書立られしを以て同國大官及び名望ある有志者等大いに歡迎し去る七月卅一日英國へ向け出發せしとの如き見送人及び見物人山をなし相手を振りハシカチーフを投げ日米兩國國民の行を祝し其盛況を三唱したりと云ふ

加奈院アソシエーション

二號活字にて前田正名及び買身に関する氏の意見と題する一篇を記載せり其大意左の如し
昨日當市に來りたる外資にして最も有名なるハ日本貿易に關しテ政府の内閣員を訪問建設して同所より到着せられたる日本東京の前田正名氏なり

氏はク非スノナルに返留せられしが滯在中に關係あるもの、外に殆ど誰も其の如何なる人物なるや知るものなかりし蓋し日本紳士は總て西洋人と異なり外面的に走らず其態度容貌誠實温厚にして禮節を重んじし、訪問者のあるれば懇話にして能く勉むる所あり本邦記者は幸にして同氏に會するの榮を得たり氏は佛語は快辯なれども英語は充分ならずして通譯者の勞に依り氏の意見を聞きたり氏は中春の人にして口に長辯を善へ一見其性温厚なるを知るとを得而かも怒を蓄養たるところ吾人の未だ曾て世界に見る能はざる所の人なり

氏は曾て佛國に學び且つ歐洲大陸を善く遊遊し歸國後農商務次官たりしが生産業の發達を謀らんが爲め遂に職を辭し爾後内地を巡歴し大に説く所ありたりと云ふ氏は米國及び加奈院旅行中氏をして驚かじめたるもの尠ならずと雖も殊に加奈院國民が日本人を能く知るが如きは最も氏の心を痛くせしめたるものなりと云ふ氏曰く吾人は兄弟たらざる可らざる加奈院人が能く日本人の氣質を知ざるは實に思ふに堪はず所なりと又曰く日本人と支那人との異なる所蓋し大なりとす前者は其得し所をば多く其土地に於て消費すも後者は之に反し其收得せし所を悉く本國に送還するものなり且日本は殆ど三千八百リッタンノロンビヤに於て蛙の漁業に従事せり、前田氏の言に依れば其内編分は自然農業に従事するに至るべしと

加奈院は果して日本に如何なるものを輸出するを得べきや、前田氏の意見に依れば大、小麦、材木、牛馬等なり、氏が來りしより氏をして感ぜしもの、中山林保護の如きは其最たるものにあらず、蓋し加奈院地方山林の大に荒れ果て悉く取掃のなきには歎息し居たり

布疋問題に至りて氏は是唯米國人中の一節を指して同國を占領せんとする如き野郎なるものに非ずと斷言せられたり

ライオン歯磨の特効



本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば從來世に行はるる普通歯磨と其實を二にして香氣麗郁として口中の汚物を臭氣を去り齒質を健全な世界無比にして且製品を常らしむると、磨れ齒齦を治して口中一切の垢を思ふ無きと疑なし是れ本品の特効なり、江湖の諸産積を淨試用の上高評あらんと云ふ

東京特約店 小林富次郎
電話花四九八番
横濱市常盤町二丁目
横濱特約販賣 支店 中村商店
東京小問物卸商組
合各店
○賣捌所は全國到所ノ小問物店ニアリ

各種形 筒前金物 各種道具 問屋 善一 長倉爲次郎

花王石鹼
花王石鹼の品質最良にして特に皮膚の美態をまじ且衛生上大に特効ある長くも
宮内省陸海軍 帝國醫科大學の御用を命ぜらる
他各病院の實驗証明を與へられ冷く内外需用諸君の高評を博したるを以て推知せられんとす
●賣捌所は全國到る處にあり
近來粗製濫造の類似の標紙を附し販賣する者有之に付本品の正標紙を認察し長倉爲次郎名義に御注意の上御買取を要す
東京馬場町四丁目自營地
九花浪話電 目丁貳町噴馬東京
郎富瀬長 舖本賣發造製

●巴里博覽會出品注意(續) 博覽會(博覽會)之
 之開設し幾多の觀者を集め多量の功果を收めたる
 土地なり斯る土地に於ける大博覽會に於て日本が
 取極の地位に於て實力を示さんとする等々博覽會
 出品にして可ならんや然れども茲に一の注意すべ
 きことあり是れ博覽會に於て其陳列方法の從
 來の如くならず製器に伴ふ器機は之を其製品の傍
 らに陳列せんとするにあり是實に博覽會の博
 覽會に於て得たる功果の一にして一見製造の順序
 を知らしめ各國の長所を採らんとするの功果なる
 手段たりと雖も日本は直ちに此企圖に應ずべから
 ざるものなり試みに思へ我が國に於て今日機械力
 經るもの多き各種工業は大抵歐米の模倣を採り若
 しは彼れの輸入を仰ぎたる器機を使用しつゝある
 に非ずや此器機を添へて其本場に出品す是實に博
 覽會の功果たるのみならず亦所購の内地を
 見送るるものたり又美術工器品等は之を彼れに
 比するに器機を使用すると少く手藝に依るもの
 多きを以て敢て彼等を示すべきものなければ我は
 只其製品のみを出陳するの方針を取らざるべから
 ざるなり而して尙注意すべきは今回の出品者が
 自己將來の利益を計ると同時に時勢に察み國家的
 觀念を其陳列に保ちて出品を爲さざる可らざる事
 なり之を是より聊か各種の出品者に對し出品の方
 針と希望を述べん

先づ美術品に於て云へば政府が買上て出品せんと
 するものは先づ從來の博覽會等に於て陳列を得た
 るもの以上の水準に依りて其内より鑑賞の
 上採用すべし今日に於て確定したるの方針
 ならねども大抵此邊を程度とすべし然れども是に
 ては後述を認察するの途なきを以て從來の博
 覽會に於て銅牌以下褒賞一等級の地位にあるもの
 即ち二流美術家には政府博覽會の内にて適當に陳
 列して相補の補助を與ふる可とす亦確定せ
 し方針ならねども既に副總裁にも既に副總裁も贊
 同せしとなれば何れ審議官任命後の此方針に依る

ならんか次に美術工器品は所購眞の美術と應用し
 たる工器品にして而も採眞に美術にかかれず工器
 品として將來の利益にも着眼せざるべからず所購
 天下第一品と云ふを目的とせずして將來其種の注文
 ありは之に應じ得べきの製作たるを要す而して技
 術美術品と美術工器品との最も注意すべきは單純
 に技術のみならず心機をも併用すべし蓋し單
 純に技術のみに依り其間一點の理想を交ふるなく
 んば所謂眞の技術にして絶えて妙味なく前記な
 く眞の無味淡泊なるものなれば以て美術の名を冠
 すべからず是れ一面より普通の議論なりと雖も近來
 の美術は兎角只た技術に依りて造りたるもの多
 理想と技術とを調合し而も自然に成りたるもの
 少なれば此點に於て大に注意の要ありと信す方
 針既に斯の如しとすれば各出品者が今日の急務は
 製造の着手なり製造の着手には考案を要す此考案
 にして拙ならんか假令如何なる技術を有するも到
 底精巧の出品をなす能はざれば造次其職底に
 此事を忘れずして大に其考案を造らざるべからざ
 るなり

次に普通工器品の出品なり此部類に屬する出品に
 對しては夫々出品者の資格を定め假令販賣商な
 れば一ヶ年の賣高一萬圓以上製造家なれば二
 千圓以上を以て資格あるものとなしたるが如し而
 して尙其品數をも定めたり元來普通工器品は其目
 的は技術を示すよりは尙る將來の利益にあるもの
 なれば博覽會開會後只殘留する所の出品目録に
 依り彼等が注進をなしたる時に於て前記の出品に同
 じき製品を出し以て彼の需要に應ずるべし蓋し
 が如しとあらば尙に博覽會を以て一種の博物館
 視したりとの感を生ずる能はざるのみならず出品者
 の進歩にして亦實に國家の進歩なり而して其類
 の進歩以上となしたるは假令は同じ二重と
 するも重目のものあり輕目のものあり注文に依り
 ては如何なる種類をも對し得べしと云ふを見せし
 められたるに外ならずと云ふ

各々醫 實驗証 品 善天無 安永舍

東京市牛込區揚場町 二王石驗製造元

安永舍

弊舍儀業務多忙ノ爲各地 方直接ノ取引致兼候ニ付 御注文ノ儀ハ東京特約 販賣店又ハ各地代理 店ヘ向ケ御便宜御 取引ノ程偏ニ奉 願上候

煉 定價 共口瓶入

小瓶 四錢 新大 十三錢
 中瓶 六錢 極大 廿二錢
 大瓶 八錢 別大 卅五錢

定價 小瓶 四錢 大瓶 八錢

本舖 東京日本橋區 橫山町三丁目

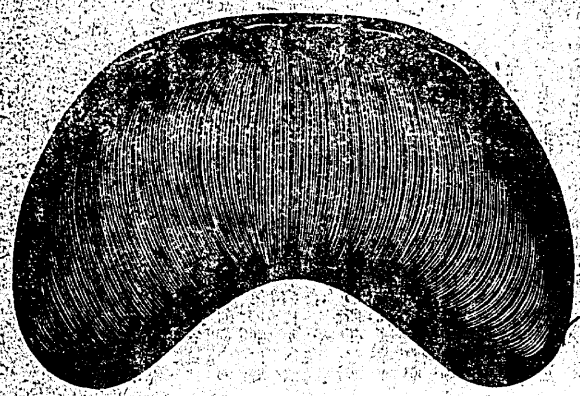
特約大販賣店 東京小間物卸商組合中

轉居廣告 前田定次郎

荒野貞太郎



形けまの製新良改大



今様東京流行とうまんなけ形製造廣告

自慢形 音羽形 新東京形

三橋形 福助形 麝香形

柳橋形 花王形 新橋形

一乃字形

右之形注文に應じ何形にて製造仕候に付注文立込居候御品切の御前可成御下度候

東京日本橋區横山町三丁目登善地

三橋商店三橋免喜次郎

大博士 (製煉) 衛生



●新製粉狀大博士稟告

定價

煉製 三ヶ月用 金拾五錢

煉製 一ヶ月用 金拾錢

煉製 半ヶ月用 金五錢

粉狀 圓筒入 大器金拾錢

粉狀 圓筒入 中器金五錢

粉狀 圓筒入 小器金三錢

東京日本橋區横山町三丁目登善地

三橋商店三橋免喜次郎

●貴嬢紳士の香料

大瓶價六拾五錢 小瓶價三拾五錢

新小瓶價二拾五錢 其他香具原材に用ゆる七次五分入及七次五分入あり

●東京市内特別大販賣所

電話本局九百三十九番

●星野與兵衛

●三橋免喜次郎

●大坂屋 松澤八右衛門

●武井龍三

三橋免喜次郎

TOOTH PASTE

三橋免喜次郎

三橋免喜次郎

●中瓶共口定價

改正金十五錢

●花の雪

●大坂屋 松澤八右衛門

●武井龍三

●改定價表

●拜啓各位益々御繁榮奉賀

●油はらの香之儀今日迄辛

●仕從來之定價にては到底

●維持致し難き儀に付き不

●得止本月一日ヨリ左之定

●價表通に改正仕候に付右

●事情御察被成下度候也

●大瓶價六拾五錢 小瓶價三拾五錢

●新小瓶價二拾五錢 其他香具原材に用ゆる七次五分入及七次五分入あり

●東京市内特別大販賣所

●電話本局九百三十九番

●星野與兵衛

●三橋免喜次郎

●大坂屋 松澤八右衛門

●武井龍三

不安心の事なり下すといふは、大に能力を弱くする法なり其の能力を弱く之に應じて適當の薬を適當の量に用ひ之を治むる結果如何を慮りて種々の注意を要す到る處醫者ならざる人の手に於て其加減を度し得べきものならざるなり所詮疑はしき場合には直に然るべき醫師に就て診察を乞ふを最も安心にして亦最も廉價なる法なりとす

して疑を容ざる所なり是明かに入院治療の思家の近隣傳染の爲たるを懸するものなり否患者自ら進みて病院若くは病舎に入たるがために其一家及其親屬が受べき利益は決して斯の如きものに止まるものならず今一家の内一人の病ものあるときは少くとも他の一人は其看護に従事せざるを得ず而して赤痢病の経過は概ね數月に亘るが故に其數月の間の三人の生産力を用ふる能はずして而も其治療消遣のたりの諸費は任拂はざるを得ず是れ二重の損にあらざるや一人病ひとさすら尙然りまして流行地に於て殆んど常に見るが如く一家數人病を併べて臥すに至りては其家の産業は全く廢して而して其仕拂ふべき諸費の額は尙大なり若くは病舎に入るべき諸費を拾さる可らず骨折して植附し骨田も雜草の生ふるに任せて扱取る能はず絲毫のべからず機械のべからず實以て慘狀を極むる大難なりかくて一人より一家一家より數家延て一村一町一郡一縣より又延て全國の各地に目下の如く流行し擴がるに至りては國家の失ふ所は幾何なるべしかば豫算するに難きはなり而して此國家の損失を少からしむる所以のものは所詮は患者一人の心一ツに懸りて存するわけなれば自ら進みて入院する人は國家に忠なるものと云ふも過言にあらざるなり

製造本舖 柳屋敬次郎 柳屋盛花堂 加藤盛花堂 定價 小盒五錢中盒十錢大盒二十錢 特別製金五十錢金壹圓

雲南麝香入 式部石鹼 歌姬石鹼 梅ヶ枝 花の露 大日本 理化應用衛生化粧 平谷合資會社

病院にての治療は、重篤病人を救ふことと、軽篤病人を早く全快せしむることを期す。而して入院早ければ早きは全快も早きものなること上に附たる所の如し。されば入院は第一に患者其人のたより、第二に家人自らのたより、第三に近隣郷黨のたより、患者を氣の毒と思ひ他人に迷惑を掛けまいと思ふ人は、必ず患者を聯りて入院せしむることを要す。

(二)事情許さずして自宅治療せざる可らざることは、患者の肩障は必ず家人の中一人にて擔當し他の人は遠かり居るべし。看護人は善く醫師の教を受て事に従ひ其手足は専心注意して消毒を怠る可らず患者、其衣服、便器及患者の汚便の着たりと思はるる物件を取扱ひたる時は必ず其手と石炭酸水にて洗ふべし。又衣服も看護中不潔の間に病毒に汚染することあるがも、常に其衣服を一定し、時々消毒し洗濯して着用すべし。

第三 町内に赤痢病患者あらん

折の町村の心得

私情を以て言ふときは、何人も病氣になりたるを、其家にあり家人の手で看護せられんことを望む。又家人も充分其身に於て看護を盡さんことを願ふ。然れども患者は家人を思ひ家人は患者を思ひ、而して共に近隣郷黨に迷惑を掛ざらんことを思ひての入院すれば、其町村たるもの病院病舎の設備を充分にせず、時に患者の拾所の如くなくしかるが如きは、不人情の極にして、又實に恩に報ゆるの心なき業なり。利己の觀念は、何れも利己の心よりたりといふて話する。人明日は我身の上の事となり、利己の心からずれば、利己の心よりするも利己の心よりするも、町村は同心協力して病院病舎の設備を完全にする可らざるなり。況んや又法律の之を分るるを、


●職工取締法 東京市工務局長の調査工業界地を調査して、職工取締法案なるものを提出せり。今期議會に職工取締法案なるものを提出せらるべしと傳ふるが、農商務省事務官の談する所によれば、職工取締法は、早晩制定せざるべからざるが、現目下の状態を見れば、夫の職工取締法の制定するに最も急務ならんが、其準備期間の過長なること、通教育の不足にして、而も其日々見聞する所の衛生少なきこと、等教育上及び衛生上に就き前途憂ふべきもの實に多きなりとす。現に女工の結婚期に至るも、弱弱にして半ば病人の如き、或は活潑は兒童の天性なるに之を規律の下に拘束して、其心身の發達を妨ぐるの慘狀を目撃するに非ず。故に今日職工の取締を定むるは、最も急務の急なりとす。夫の大人の職工に至りては、未だ急務とする所あるを見れば、寧ろ他日に譲る可なり。若し今日之が制定を要すとせんか、我工業は功興以來、日猶淺くして、年々増進の勢ひあれば、今日の現状に依らずして、數年の前途にも適用し得る機制定せざれば、其効定からざるべし。により其取締法も困難なりといふべし。死んや職工と云ふも、大倉社の職工もあれば、一家數人の職工もあり、福生足利等の機業に至りては、二里四方以上にも、幾多小機業の散在せるもあり、到底是等の取締を一定せしむるとの大困難なるに於て、を以て職木の職工條例に據るべしといふものもある。夫れ各職の工業に於ける多年の發達にて、今や成人の體を爲すも、我工業は未だ幼稚にして、恰も兒童の狀態なれば、成人に適用する制定を以て、直に兒童に擬せんに、其將來の發達を妨ぐるや、大なるものあるべし。故に一は工業の發達を謀り、一は職工の衛生上、教育上の取締を爲すべし、幼者に在りて大人に必要を見ざるなり。されば幼者の取締を嚴にせば、尙發達を妨ぐるものなきといふも、今一層機械の精良を計り、作業の巧速を爲すに至れば、製菓高を増し、却て生産費を減少して、幼者過度に使用するの必要なきに至らん云々。

●金融の緩急常ならず 金融の緊閉は、毎年一定

●陸軍御用 近頃非常に名高きはみびき
●米國レカゴ府 グレイド會社製

●西洋象印はみびき 定價 三十五錢

●安藤井筒堂 買取手一本日 店賣取油善井 前宮天水町亮綱京東



●西洋象印はみびき

●安藤井筒堂

●特約店賣販

●江川商慶賣品廣告

●龍甲珊瑚珠時繪物推朱彫各種

●舶來最上黑茶本ゴ公櫛各種

●舶來最上人造ゴム無地龍甲ばら各種

●舶來最上人造ゴム象牙櫛笄簪各種

●發賣全上總屋江川金右衛門

●小問物問屋同支店

●莫大小製造卸廣告●
小間物屋さん仲間へは特別に働いて賣升

卷茸用ハイプ
薄荷ハイプ材
ライスベーパー
各種製造元
舶來ハイプ問屋

東京市日本橋區
通鹽町四番地
菅谷爲吉

拜啓陳々此中出京中之際ハ御厚情御引立ニ預リ難有御禮申上候尙ホ不相變御引廻シノ程賴上候
追御注文品ハ精々吟味リ上順次出荷仕候間宜敷御聞濟被下度候
大坂市東區心齋橋博勞町
白粉製造問屋
八世
富田屋甚兵衛
玉樹福生堂號

合資東京鬆問屋開店廣告
弊社舊去月廿三日とて登記公告相済且營業場新築中にて坐候處今設落成来る八日開店 かねて願一式品質と精撰し價格稍々相働き一名 東かもし
と稱し製造販賣仕候間何卒多少注文仰付被下度奉願候也

東かもし 東京市
本舖 橫山町番丁目壹番地
東京鬆問屋合資會社

肌膚着靴下各種 手袋品



東京市日本橋區橫山町三丁目八番地
莫大小製造卸問屋 鈴木卯兵衛

製造元 東大野金城堂

男女之間はず眞の白色美人となるは此薬に限る。



第一白色美人の美澤を出す。鉛毒を消去顔あざ黒くあれ症にきびソノハカス或は無名のほつろつ出泉の皮むけ又は紫色の塊出来あせも日にやけのくまやけ等總て皮膚の毒をとりやせよこまかに能く能く小兒くさ胎毒の類は忽ち治すキレノ水の製法は全く普通化粧品と異りて一種特別の調製なれば彼のリスリン劑又は蒸溜水製のものならず殊に白粉下に用ゆれば鉛毒を防止白粉のよよく通上を静め邪氣を拂ふ當時化粧水の種類多しと雖も外國輸出多く日増に買高増加するも全く原料宜敷なる可也

本舖 東京外神田花房町角 山崎帝國堂
無毒なしろい目粉
即水は各國至る處の小間物店賣藥店唐物店各地かんとす等にて賣捌き候帝國堂キレノ水注意

海外代理店



めきはし齒磨

精進法
精進法
精進法
精進法

定 價
大野五郎
大野金五郎
大野金五郎

東京市日本橋區
東山町二丁目
大野金五郎
大野金五郎
大野金五郎

精進法
精進法
精進法
精進法

定 價
大野五郎
大野金五郎
大野金五郎

●事業縮小の方針 經濟界の發行額として今後用となるか猶た風となるか何人も理想に苦しむ所にして昨春以來一時に勃興したる新會社は折角主務省の認可を得ながら株金を募集すること能はずして其事業に着手せざるもの多し或は着手の計畫を爲して之と見合はすものあり今諸種の事業に關係を有する實立たる人々の意向なりと云を聞くに曰く戦後の經營は政府も民間も共に其方針を誤り遂に今日の經濟事情を演出したり而して政府も民間も共に今後此儘に進行し得べきやと云に決して然らず左ればとて政府の事業を縮小すること能はざるは今日迄の腹前に就いて明かなれば遺憾ながら勢ひ民間の事業を縮小せざるべからざるの成行にて依然民間事業の擴張を試みんか新事業の成立せざるは勿論併せて既設事業にも影響を及ぼし或は其弊の不幸を免れに至らんも圖られず是今日に於て斷然新事業を中止し其既設事業の維持に力をを用ひざるべからざる所以なり彼の舊會社の如きは同地經營の上より見れば極めて必要にして國家の爲に一日も早く敷設することを得策にして今日の新事業計畫中最も重要なるものなれどもそれすら今日の經濟事情が之を許すや否や掛念の至りなり況んや其他の二地方に偏する鐵道の如きは到底之を他日に期するの外なし今日は進取の時代に非ずして保守の時代なり故に苟くも算盤に上らざるものは悉く之を中止し若くは解散すべし此際強て無算算成を爲し高利の日歩を拂ひて社債等を起す如きは更に苦境に足を踏入るものと云はざるべからざる而して是等の諸氏は皆之を口にすのみならず若く之を事實の上に現し居れりと云ふ

●日本紙幣の需用 近來歐洲に於て紙幣の需用日本増加の傾向を以て倫敦總商會(ロンドン)ニテ、ハルデングなるものより日本紙幣輸入の目的を以て農商務省商務局へ本邦該商人の紹介方を依頼せしことありしは已に記したるが商務局に於ては該品輸出會社を請ふありたるに依り同商店の信用等に付取調たるは同商店は各會社の組織にて資本額等明了ならざるも取引の範圍商業上の信用は可なり地位にありて先づ商人中等以上地位するものなりと云ふ但し該品輸出會社の直接同商店に問合す方然るべしとのとなり

●最近登錄商標摘要

- 品名、齒磨 平假名にて書したる「あさひ」の文字 東京府 河合増太郎
- 品名、一切の顔料染料 二見ケ浦日出の泉の圖 神戸居留地獨逸國 ムツル、ホルム
- 品名、香水、香油、煙膏、柱香、香袋、髮膏、顏形様の面に二個の「レ」の模様の有する八角形の一端を重掛けて置き其外周を花卉にて抱擁したるもの 英國 ニーランド、グレン、ニール、フアン、グレン
- 品名、齒磨、洗粉 一線圓形内に四本の矢を以て十字形となしたるもの 同 ワゴン、ザル
- 品名、齒磨 土俵場と大關の二字 東京府 濱田卯之助
- 品名、香油、髮膏、香袋、柱香、煙膏、化粧下、橋上にて左向して坐し右手にて傘を指掛けたる婦人の右方に葉及び有する折枝左方に挿花の瓶及び新月を畫ける圖 同 松澤常吉
- 品名、石鹼 數線長方形欄内中央に羅馬字にて「ベスト、フアミリー」と記し上下に布片形左右に十字形を顯したるもの 同 神奈川縣 宮田りき
- 品名、同上 數線長方形欄内中央に羅馬字にて「エペール、フアミリー」と記し上下に布片形左右に十字形を顯したるもの 同
- 品名、香油、髮膏、香袋、香水 入山形の下に篆体大の字を記したるものを上下に對置して菱形状と爲したるもの 大阪府 近藤清水郎
- 品名、固形白粉、水白粉、白粉 篆書体にて書下したる玉美人の三字 東京府 中村彌兵衛
- 品名、石鹼 楷書全世界の三字 新井廣左衛門
- 品名、石鹼 光線と對置せる半出太陽に人面を顯せるもの 同 西條重兵衛

第四回國內勸業博覽會 有功賞牌受領

最良八千代香油



精煉香油

右之外諸油類皆品質ヲ撰ミ廉價ニ販賣仕候間 不相變多少共御注文被仰付度奉願上候

東京市日本橋區田所町

井筒屋油店

油問屋

美人化粧品大王

高評化粧品大王

獨逸シシス會社

原品直輸入

此別嬪化粧品の目見れば只の清水の如くなれども不思議に白くする事等の如く玉の如し行水湯あがりかみを用ひずして其湯ですぐに物に立所にさがるがゆゑにこれを用ひ玉は一人一倍の光彩を放つ

化粧品小問物齒磨問屋

東京市日本橋區山崎町三丁目一番地

三橋克喜次郎製

約代理店

東京市日本橋區山崎町三丁目 平野源七

同馬場町四丁目 山田三三

同同馬場町三丁目 武井三三

同同馬場町三丁目 大木口合名會社

同同馬場町三丁目 武井三三

同同馬場町三丁目 武井三三

又古まへへ

天保年間觸書の寫し(未完)

(天保十三年七月廿四日)

一異國船渡來の節無二念打拂可申旨文政八年被仰出候然當時萬事御改正にて享保寛政の御政事に被復何事によらず...

近世奇跡考(抄録)

諸説者蓋妄なり、延享中板本「柏述一代記」を見るに、正徳三年四月、木挽町山村座に於いて、柏述(二代目)十郎はじめて此狂言をす...

右之通可被相觸候 文化三年相觸候節、先達而たるしや船長崎へ渡來致し通商等の儀相願候得共取用ひ難し...

人数等差配先見分のもの差出篇を様子相糺彌ふかるしや船に無相違相觸候は、能々申論なるたけ程かに細帆いたし候様にて取計候尤も實々難風に逢ひ漂流致し候様にて食物水薪等乏し...

會齒磨正眞寶香稟告 本品の價は明治の初年に弊店の旨法を改正せしめて常備白塗の等を用口中に實効ある藥種を以て配任精製致候故御使用口中の粘液を...

麝香ねのたの巻 日本橋區馬喰町四丁目番地 製造元 東京莊園堂

玉親張免 井入共井入共 羊煙草入共 手提靴北入共 學校用旅行用 擊劍道具類 新行專 形屋

特約販賣所 東京小問物問屋各店 會齋藤吉次郎謹白

時興

▲時興 名古屋 田中 豊真
桐の葉は落しつゝもなかに、
けふのあつたさなへ難か
なほあつたさなへ難か
月の光はおきにあれども
秋の葉に秋の初風吹さながら
なほあつたさなへ難か

▲時興 全
にほどりの聲にわさめて我庭の
樹ににらりる月を月しかな
にほどりの唯一聲に月かけの
白くもなりて夜は明にけり
有明の月もしらみて山寺の
かねよはやく鐘のなく

●時興いろは頭つけ俳句
番にくさ草を分けても採たし
帯さつと縋て登るや秋の山
草の葉のゆれて湧出る清水成
山菜の秋らし橋の出来る音
負るほど相手をふえけり辻角力
けふ入梅のあくと思へ下草の家
願くふた事ははかくして夏坐敷
小春等のほめる且那や菊の花
江の鳥の羽音しきりて秋立ぬ
手料理に友呼ぶ後の拾かな
揚る帆にふるす帆のあり青嵐
逆さす夜や露に見へかくれ
桐一葉見て書直す手紙かな
百合さくや雨へ曇るなれば山
目の上につかへる山や花つし
見直せつゝ小見ゆる毛虫成
仕舞でも響る響する火花成
結に書た牡丹のやうな牡丹成
日も勇みたまふて照るの箱の花
民りに如何に拾て飛た川
蝶を吹く風はつらたし若の花
在東京 名古屋 豊真

このれ先年京阪地方に遊びしとき彼の西京者

の若倒れ大阪者の喰ひ倒れ物喰ならはむ所
を喰ひしに實は一驚を感せしなり而して今
度東京に來り商用かたの諸所を見物せしに
東京にも亦いろいろの所ある事を見たり依
ていふもなれ各古屋ものところニヨク
府の窓口と並立し大津輪舟を一寸見覽に
入申し
▲三府窓口大津輪舟
京の着倒れば喰ひ倒れ物喰ならはむ所
なれども、あちの隅でも、鳴りわたる。大
阪者の喰ひ倒れ。若る物喰ないを我儘で、物
喰ひながらに雲隠し、東京の名物は火車喧嘩
かタクツリ馬車の馬の糞、豪華で道中にいけれ
ども、腰や木でたない、たない、それと其
等。國をむしと云ふやな。

●口上茶番人物
是は昔て某商店思比壽の席上にて於て素人連
の催しに係る口上茶番の由にて今時の筆記
を得たり。秋の夜長のお慰みにもならんか
と、茲に掲げる事とすはしぬ
其、口上者
私のお題は易者申のことでござりますから、黒澤先
づ方角を申上ります、エ、東京、今晩皆
機が斯様に茶番を演習に出でるので、傍坐しますか
ら、見に来た(南に北)で傍坐しませう(と見物
に反物半反)之と云はれ、時、見
した處一番の直じや、申せし(と見物
と存じし)一反賣て見れ、申せし(と先方
で申す)夫は、見本に今日来た計り、先方から申
まして申す(と)の(占)の(占)を半反(判断)に
わけて賣ひましたか、併し半反の事ですから、若物
成ます、ココで私が、新様に景物を持たせ、居ます
と、皆様が、残らず、目を見、閉になりませう、ラン
見ますれば、物見(相見)かと存じます(未完)

の若倒れ大阪者の喰ひ倒れ物喰ならはむ所を喰ひしに實は一驚を感せしなり而して今度東京に來り商用かたの諸所を見物せしに東京にも亦いろいろの所ある事を見たり依ていふもなれ各古屋ものところニヨク府の窓口と並立し大津輪舟を一寸見覽に入申し

●世界無二藥齒磨玉蘭

衛生 磨齒 玉蘭

伊勢屋三吉 謹製

●無毒西洋水粉

白粉

●田中花王堂

特別名姓 (順ハロー)

田中花王堂

●問屋

革煙草入類
煙管筒類
卷葉入銀貨入類
手提鞆肩掛類

藤大和屋
小林藤兵衛

●同

大尾富岡 徳野大丸 田野丸 善木置
尾野大丸 田野丸 善木置
大尾富岡 徳野大丸 田野丸 善木置

Copyright notice and other small text at the bottom of the page.



別製 改良

小町かほ 萬武支店



標商錄登

第四回内國勸業博覽會褒狀賜

塗櫛類一切製造卸 一元結水引類製造卸 一かじ類製造卸

品質純良 ナルヲ以テ 紀念博覽會ニ於テ 褒狀拜受



東京日本橋區馬喰町三丁目 同通都山田三丁目 同通都山田三丁目

業專毛刷シラフ



日本橋區通都山田六番地 プラン刷毛專商 保徳永保之助

東京銀座佐々木女兵衛 日本橋區山崎町二丁目 同通都山田三丁目

發賣元 田部重兵衛 約特大販賣店 尾崎榮之助

Advertisement for '本品の特色' (Features of the Product) with a central circular logo and descriptive text.

Advertisement for '美術ペンキ塗 書畫看板師 大勉強' (Artistic Painting, Signboard Artist, Big Study) featuring an illustration of a person painting.

Advertisement for '顔艶水' (Face Beauty Water) with a list of branch locations across various districts in Tokyo and surrounding areas.

Advertisement for '顔の艶を白美にする妙劑' (Secret Agent for Beautiful and Pale Skin) featuring an illustration of a woman's face.

第二回全國五一會出品評會 等褒賞拜受

創設廿五年紀念博覽會有功銅牌拜受



定價

大箱五元 小箱三元 瓶裝大箱拾元 瓶裝小箱五元 高箱五元 高箱一元五角

貴功 齒磨 ダイヤモンド御取賣諸君に謹告

各地御得意様方愈々御繁榮奉大賀候陳者弊店製造 貴功 齒磨 ダイヤモンドの儀製額擴張の爲め去七月 中製造所移轉以來内部諸般の準備旁々彼是混雜に 取紛れ各位の御注文に對しても兎角出荷の滞滯を 生し夫が爲め御嚴督を蒙候向も有之候處最早百事 の整頓を告げ如何ある多額の御注文にて迅速出 荷の運びに相成候間何卒不相變御愛顧被成下度此 段爲念謹告仕候敬白

和洋小間物并賣業の諸君へ謹告す

各地同業各位御仕入の爲め御出京御留滞の諸君見本を携へて御出候 間は殆んど一般の賣場と相成候共此に於ては各店に對し指定し不充 分と相成候處は更に御仕入の爲め御出京御留滞の諸君見本を携へて 御出候間何卒不相變御愛顧被成下度此段爲念謹告仕候敬白

有名賣藥 和洋問屋 〇善堂平尾贊平 化粧品類 東京日本橋區馬喰町二丁目 電話六五五十二番

醫學士稻生悌先生新方 驗石らくさ 驗石蜜峰 HONICSEFEVON SUZUKI

此の貴功齒磨ダイヤモンドは其品質たる實に齒質を固ならしめ齒色を潔白光澤ならしむこと蓋しダイヤモンドの命名に背かず其配伍藥品は從來の齒磨の諸品中未だ嘗て合劑せし事なき功驗諸藥を以て精製し其香氣も又實に他品に優るとも劣る事なき素より保証する處有り

特製金鷄掛發賣廣告

婦人の粧飾品は總て其品位或は機械體裁等の如何に因て大に其人の品位に關し中裝掛品の如き其品野卑なれば之を用ふる人も亦自ら野卑なるも故に之を製出せば常用に供する者亦其品位の粗に拘らず價格の廉下を離せず其品位の優劣を以て能く人の優劣を保つべしはこれに在り

丸見屋善兵衛 東京日本橋區馬喰町四丁目 電話近東四四八番

TOMEIOSHIROI 衛生無害 料原國佛 定價 大瓶 金廿五錢 中瓶 金拾錢 小瓶 金拾錢

特約販賣店 (丸の原) 花博堂 牛宮 尾澤 博愛堂 神田 帝國堂 花房 田村 藤置堂 日本橋 村玉 藤置堂 町目 上 藤置堂 町目 上 藤置堂

特約發賣元 玉寶堂 丸見屋善兵衛 東京日本橋區馬喰町四丁目 電話近東四四八番

丸見屋善兵衛 東京日本橋區馬喰町四丁目 電話近東四四八番

每月五日十五日廿五日三回發行堂價銀五厘一編組發行入

東京小間物新聞



今般東京小間物卸 商組合事務所を日 本橋區藥研堀町四 拾五番地へ移轉す

雜報

●紐育經濟近況 米國紐育に於ける經濟近況に
附き駐在領事より去月十日附の報告要領は左の如
く久しく萎靡不振の境に陥りたる當國一般の商工
業も去る六月中に至り益々其景氣を回復せんとす
るの望を生ぜり蓋し大統領の改選に引續き其就職
後は早晩景氣回復の時來るべしと世人の普く豫
想する所なりしも先般來臨時議會に提出せられた
る關稅案は實業者をして頗る其向背に迷はしめ且
つ當國經濟社會の一大病源たる貨幣制度の缺點は
現在大統領が選挙戦争の際に改正を公言主張せ
し所にして亦其改正は世人の之を望むと恰も大早
の雲霓に於けるが如くなるにも拘はらず現政府に
於ては更に之に着手する換算なきを以て一般の景
氣は豫期の如く急に回復の模様なく頗る失望する
者少からざりしが關稅案は六月中に若く其歩を進
め終に本月七日を以て元老院を通過し最早遂から
ずして落着を見んとするに至り又去る五月下旬よ
り六月下旬に亘り大蔵卿は各地に於て實業家の
催はせる公會に臨み政府は決して貨幣制度改革問
題を等閑に付するの意なく時機を見計り必ず其處
分に着手すべき旨を公言し尙ほ過日關稅案の元老
院を通過するや否や政府は直に貨幣制度調査委員
會設置案を當臨時議會に提出するの準備を爲し大

統領は兩三日中に本件に關する教書を議會に送付
する等なりと云ふ右二件は何れも一般商工業社會
に好望を與へたりしが尙ほ昨今に至り今春に於け
る當國小麥の作物は頗る豐稔なるべき見込立ちた
るより益々前途の好望を來したり
關稅案は前記の如く本月七日を以て元老院を通過
し目下兩院交渉委員會に於て協議中なるが元老院
を通過せる案に據れば本邦より當國に輸入する重
要品中生絲は従前の如く無稅製茶は一旦一封に附
き十仙づつ課税する修正案出たりしも右は消滅し
て従前の如く無稅と爲り華越は衆議院案にては頗
る重税を課せらるる等なりしも是亦元老院に於て
無稅と爲り絹布類は(現行稅率從價四割五分)一
平方碼に附き一オンス三分以下三分一オンスの
品(本邦品は殆ど全く此範圍内に在り)にして練
製せざるもの又は染織にして練製せるものは一封に
附き二五五仙、練製せるものは一封に附き三三三仙
織製の上染せたるものは一封に附き三三三仙
と爲り絹製手巾は(現行稅率從價五割)最低稅率
價六割にして絹布の割合を以て課税し則ち加た
るものは更に從價一割を増課す麻袋類は(現行稅
率從價二割)一平方碼に附き價十五仙以下の品は
一平方碼に附き五仙と從價稅二割五分、十五仙以
上の品は一平方碼に附き十仙と從價稅三割五分と
爲れり其他本邦より輸入するものは何れも多少の
増稅を受けたる然るに製茶及び華越の輸入に從事
する商人は前途重税を課せらるべき見込を以て高
價を省みず多量の荷物を仕入れたる後課稅案消滅
したるが故に損害を被りたる者少からず又絹布類
の輸入商人等は新關稅法の實行に先已に多量の
荷物を取寄せたれば今後一年乃至二年半許は新に
輸入するの必要なきを以て當分増稅の苦痛を感ず
ることなるべしと云ふ

●布哇國を當國に合併する事に就いては數年前より
其議を唱ふる者ありしが當春米益々氣船を高め終
に去る六月十六日に至り大統領は兩國全權委員の
締結せる合併條約を元老院に回付せり本件に關し
ては當國人中にも反對の議を唱ふる者少からず新
聞紙上の議論頗る熾たりしが當國經濟社會には
未だ空想を來さず一事件并に希土事件も
亦其後何等の影響を及ぼすに至らざりし
●金銀相場 金塊相場は前報後異動なし銀塊は
前報後依然相應の取引あり相場は倫敦に於ける銀
塊相場に伴ひ漸次下降せり然れども當地に於て銀
塊の輸出に從事する者は多く先約束を以て之を買
入るが故に輸出額の多少は必しも相場の高低
に相伴はざるものとす去る六月中の平均相場は一
オンスに附き六十仙一厘なり
●金銀の産出と其集散 去る六月中は前月に引
續き多少の金塊當地より歐洲に向け輸出せられた
るも本月に入りては頗る僅小と爲り現に本日歐洲
に向け輸出する船舶の如きは悉く金塊を搭載する
ものなし當業者の説に據れば本年金塊の輸出は既
に其終を告げたるならんと云ふ
●銀行の景況 當地諸銀行は前報後依然多額の
遊金を持餘し金銀兩の緩慢なり株式取引所に於け
る當座貸付金利子六月上旬より中旬に在りては
年一分乃至一分五厘なりしが下旬に至り一分乃至
二分と爲り本月は一分四分の一と爲れり定期貸付
金は二箇月限年二分三箇月及四箇月は二分五厘
五箇月乃至七箇月は三分手形割引歩合は六十日乃
至九十日拂以年三分乃至三分五厘なり
●有價證券の景況 去る六月中には鐵道會社の
債券にして拂還期限に到着せるものは目下金融の
緩慢なるに乗じて新に低利の債券を發行して之を切
替へたるもの多かりしが右は頗る好結果を奏し其
株相場の上にも多少の上進を來し尙又前記の如く
昨今當國商工業一般の景氣も遂からず回復せんと
するの望を生じたるより諸株券も亦之に應じて一
體に上進せり千九百二十五年拂四米利附無記名合
衆國公券(額面百弗)は六月二十五日を以て最高
價格百二十五弗八分の三に達せり

秋の花妻 (第一席)

元弘三ツの年某の北條相模入道高時鎌倉に滅びてより...



花は酒山門に入るを許さず本堂の奥に春來れば花は不...

ふても此遊びはやめられぬ此戦國に敵を控えて...

●アンダーソン氏の貿易談 夫の加余陀政廳派の本部商業顧問アンダーソン氏が神戸の實業家に招待せられし席上に於て談話したる大要なりといふを聞くに加余陀政府の年來輸出貿易の擴張に熱心し之に關する取調として各國の視察員を派したるが目下の所には三ヶ國にして一は歐洲に墨土其に在り他の二は斯くいふ拙者にして、即ち日本へ來りしに然るに日本は意外に景色勝れ諸事立派なるものみにして渡來せし拙者の満足と喜悅は限らざるや抑も今日加余陀政廳の望む所は日加兩國間に交換的貿易と盛にし双方に於ける出入を益々擴張せんとするに在る事なるが故に感心すべしは曠者或駐在總領事能勢氏の事にして從前日加貿易は左で盛ならずしも能勢氏の來任以來頻に東西奔走し機敏なる働きと熱心なる盡力とにより遂に今日の如き盛を致すに至れり凡そ高國廣しと雖も斯の如く職務に勉勵する諸事は復あるべしと思はれし我一同の敬服する所なり去ながら仔細に輸出貿易の實況を取調れば我加余陀は日本より多額の商品を輸入し茶の如き第二重の如き輸入額の頗る多に反し加余陀より日本へ輸出する商品は甚だ少し我國の遺憾に堪ざる所にして隨て之が擴張を計んとするに至りしなり予が渡來日猶淺しと雖も今日まで各地の實況を視察するに我加余陀の生産物にして日本に運賣するもの甚だ多し輸出するも差支なき事と認たり依て今後は國人に於て加余陀を可畏ならしむる他國より輸入する同一直接若くは少くても加余陀の方廉價なりとせば是非とも加余陀品を輸入購買せられたる事を望んで止まず去れども貿易は双方交換的ならざるべからず輸出の平均を保たざるべからず加余陀政廳も亦能く斯の道理を知るが故に日本へ多く輸出せざれば日本よりも亦多く買入は必定なき斯の如くにして始て輸出入の平均を得所謂交換的貿易の實果を彼の盛大期して待たざらば此事に就ては我々の力ありんか又目の黒さうらに二も三も努力する者なり昨年加余陀は一千萬磅以上の貿易を輸入せしり昨年加余陀にしては世界各國に於ける華主中第一の對華貿易先は我

加余陀なるべし勿論加余陀は大國にあらざれば左程人目に立ざれども人口の割合より云へば茶を需用するの多し世界第一なり又加余陀を知らざる人は唯英國なり加余陀の名産は水雪のみと唱へ他に生産物なきが如く思へるも何ぞ知らんか加余陀には世界第一の金山あり其の産出する之を以ては盛大なる製造場あり水産物あり尙且つ世界第一と稱せらるる山林及び獣皮等の産出物なからず是を以て昨年我加余陀の輸出入額は日本全國の倍額に達せり日本は人口四千萬加余陀は僅々五百萬に過ぎれども貿易額に斯の相違あるのみならず國內に敷設せる鐵道は當に日本の八倍にして其延長一萬六千哩に達し右の如き現狀なるを以て此際少しく勉めば日加貿易の益々發達せんと疑ひを容れず尙諸君に御注意申たは製茶貿易の事にして前陳の如く我加余陀は年々一千萬磅以上の茶を需用するも日本商人に於て今後引續き現今の位置を維持せんとならば充分の運動をなさざるべからず印度の如き支那の如きは中を機軸とする運動をなし盛に廣告法を講じて以て其位置を落さざらん計れり故に日本商人も之に反抗して廣告にまれ其他にまれ熱心の運動肝要なるべく廣告の効能は直接に顯るものなり元來日本は良茶を産する國にて茶の鑑識には長け居れども外國にては之が鑑識力に乏しく支那茶も印度茶も乃至日本茶も同様のもの其味を知らざるもの多し去れば茲に日本茶の廣告を盛にせば自然其良好なる事を知れ需用者も増加するなり次に今日まで静岡、福井、名古屋地方を巡回し静岡にては紙、敷物、名古屋にては陶器、磁器、紙器等を見、福井にては物、二重葉を視察し其盛大なるに驚きたり而して其製品中にも中々結構なる品あるを認められたるも亦中には失禮ながら粗製濫造の弊なきにあらざる我加余陀人は年月を追て諸事其進歩に其需用品の如き直接に持ちし良品を輸入するの風を生ぜり去れば精進なる品は何程にも需用あるべきを以て貴國に於ては粗製濫造の弊を杜絶しよとて良品を維持するものに勉められたり果して然らば日本品の好評は

代理店約
 東京日本橋區山町一丁目 天野源七
 同馬場町三丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町四丁目 三橋喜次郎
 同通町五丁目 武井合名會社
 同通町六丁目 大木口合名會社
 同通町七丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町八丁目 武井合名會社
 同通町九丁目 大木口合名會社
 同通町十丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十一丁目 武井合名會社
 同通町十二丁目 大木口合名會社
 同通町十三丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十四丁目 武井合名會社
 同通町十五丁目 大木口合名會社
 同通町十六丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十七丁目 武井合名會社
 同通町十八丁目 大木口合名會社
 同通町十九丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町二十丁目 武井合名會社

品質善長ナルチア第三回五二會品評優會賞受拜賞

日光散
 大日本帝國藥業株式會社
 東京日本橋區山町一丁目

品質善長ナルチア第三回五二會品評優會賞受拜賞

香露
 大日本帝國藥業株式會社
 東京日本橋區山町一丁目

美人に高評博したる化粧品大王

高評博したる化粧品大王
 原品直輸入元
 獨逸イタミヤ會社

約特店代理代
 東京日本橋區山町一丁目 三橋喜次郎
 同馬場町三丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町四丁目 三橋喜次郎
 同通町五丁目 武井合名會社
 同通町六丁目 大木口合名會社
 同通町七丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町八丁目 武井合名會社
 同通町九丁目 大木口合名會社
 同通町十丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十一丁目 武井合名會社
 同通町十二丁目 大木口合名會社
 同通町十三丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十四丁目 武井合名會社
 同通町十五丁目 大木口合名會社
 同通町十六丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町十七丁目 武井合名會社
 同通町十八丁目 大木口合名會社
 同通町十九丁目 丸尾屋善兵衛
 同通町二十丁目 武井合名會社

全世界無比 玉の肌

玉の肌
 本舖
 東京市芝區西の 諸君鑒察所
 久保町十番地 西洋小間物商 稻生商店

日本銀行貸出手段

貸出目的の事
一 貸出は日本銀行法第一條に規定する如く...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

年賦償還貸付の事

年賦償還貸付の事
一 年賦償還貸付とは金額に依りて定めたる年限...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...

借入金の事

借入金の事
一 借入金は其利率を毎年六月十二月の兩度に...



島田忠徳氏

就ては今月が例の月見、十五日と申しても最上...
島田忠徳氏、直助の志しに感心なし...
島田忠徳氏は、直助の志しに感心なし、...

改良蠟引紙壽賀

は創設廿五年 紀念博覽會 有功銅牌拜受



本館の研究と製造改良する故に蠟引紙の改良... 蠟引紙の改良... 蠟引紙の改良... 蠟引紙の改良...

改良蠟引紙壽賀本舖 護謄壽賀本舖 丸見屋善兵衛

Table listing various items and prices, including '人造珊瑚珠' (Artificial Coral Beads) and '森川積善堂' (Moriyama Kichuan-do).

Advertisement for '人造珊瑚珠' (Artificial Coral Beads) featuring a circular logo with a crown and the text '森川積善堂'.

東京帽子製造株式會社製品 帝國製帽株式會社製品

東京市內特別大販賣所 星野與兵衛 電話本局九百三十九番

Advertisement for '貴嬢紳士の香料' (Noble Lady and Gentleman's Perfume) featuring a circular logo and the text '星野與兵衛'.

帽子問屋 沼倉商店

Advertisement for '京美人' (Kyoto Beauty) featuring an illustration of a woman in traditional dress and the text '雲井石鹼'.

Advertisement for '髮掛類' (Hair Accessories) featuring an illustration of a woman's hair and the text '星野卯三郎'.

登記印紙の消印 同治印方改正の爲めに於て従前の通り消印の上に出す者ありとも其儘受運苦しからずと主税局長より夫々へ通牒あり

新鑄造の金貨 金貨本位の實施は本年十月一日より施行するを以て日本大藏省現行局に於ては其準備を怠らざるが其鑄造せんとする總金貨額は四千八百萬圓にして既に鑄造し終りたるもの殆んど四千五百萬圓に達し其殘額も亦數日以内に完成し終る由右は十圓二十圓の二種にして五圓貨の鑄造は實施後早を取掛るべしとなり是金貨取引は漸じて大取引なるを以て五圓金の鑄造は目下差急きて其必要を感ぜざるが故なり

國家經濟の膨脹と國民の注意 我國の經濟は日清戰爭以來非常の膨脹にして物價は日に月に騰貴し來り其底止する所を知らず蓋し其原因は多かるべし就中銀地下落(第一)戰後(第二)租稅の増加(第三)を以て重要なものとすべしが如し

第一銀地下落に伴ふ外國爲替相場と米價とを比較せしむ 明治廿七年 同廿八年 同廿九年 同三十年
米價(東京) 九圓六錢 八圓六錢 八圓二錢 八圓二錢
爲替相場(倫敦) 一圓二錢 一圓二錢 一圓二錢 一圓二錢

物價の上進は銀地下落與りて力ありと雖も去廿七年より統計に依れば物價は昂進せしむるもの獨り銀地下落のみならず如し

第二戰爭全捷の結果は通貨増加及び一般の人民に強憤心を誘起せしめたる者あり左表を見よ

明治廿七年	明治廿八年	明治廿九年	明治三十年
通貨増加額	二億六千九百九十九萬四千四百〇六圓	三億〇六百六十五萬九千四百〇六圓	三億〇六百六十五萬九千四百〇六圓
通貨増加率	一〇・八	一〇・八	一〇・八

第三租稅增加は我國民生活の程度を著々に誘導せし媒介ならざる事なきが

明治廿七年 九二、三九六、八三三
同廿八年 九二、三九六、八三三
同廿九年 九二、三九六、八三三
同三十年 九二、三九六、八三三

右の統計に依れば戰爭以前の租稅は少額にして物價は世界中比類なき低廉なりしが今や國力膨脹と同時に租稅を増加するの止むを得ざるに至れり最近廿七年より三十年度の比較を見るに廿七年は九千二百三十九萬九千六百八十三圓なりしが三十年度は二億四千餘萬圓となり即ち二倍六割の増加なり然れども翻つて我租稅を歐洲各國の租稅に比較すれば其差尙は大なるものあり今や人口に對する租稅を比較せんに佛蘭西は七十六法、九十九法、六山、吉利は六十二法、七十七法、七十九法、九法、四十四山、なり而して我國は此度の臨時費を見込みも尙は十九法、七十三山に過ぎず佛蘭西に比すれば實に四分の一とす只短日月の間に國費遂かに急進大せしが爲り一般經濟社會に動搖を來せし我國民の負擔し得られざるものと比信せざるなり加之ならず國費の増加するに隨ひ奢侈の度進歩するの恐あり九千二百四十萬圓の租稅を徴したる廿七年度頭と二億四千餘萬圓の今日とは其差一億七千六百萬圓にして實に二倍の増加をなす凡と租稅増加すれば人民動搖を言ふべき等なるに實際之れに反したる結果を見るに至れり例へば一家の活計一年に九千二百餘圓の費用なりし者が僅かの年月間に或る名譽を得て不得止多額の費用を要し年費増して二萬四千餘圓となれば其部下に使役せらるるものが主人を習ひ年費九百廿餘圓にて生活したるもの二千四百餘圓を費すに至らん然れば我國民も此國費の増加するに従つて生活の度が増加するは免かれざる事なれば廿七年度の舊態に安んずるを得ざるは不問もその要なげん唯我國同胞戰後の以義實業に勵みて同心協力互に相一致し殖産興業に勉めて國費を負擔し自家生活上の餘地を存するの覺悟なかるべからざる人なり

眞福助おら梅

中村福助謹製

鉛毒の害

世通白粉は著白鉛を主料として調製するものなれば之を多量に用ぜしむるもの鉛毒に罹たるもの其例實に抄しとせし殊に俳優、藝妓、舞臺、等此の鉛毒に襲はれれば手足ひれ、或は身軀不具となり終に死に至りたるもの往々有之故に世の衛生を重んぜらるる令娘貴婦天性の美麗光澤を保んと欲せば先ず此無毒衛生白粉眞福助御用粧あらんとす

全國一手發賣元 東京 橋山町 田中花王堂

御賣 東京小間物卸商組合中

發賣元

東京小間物卸商組合中

田中花王堂

美術金製

此玉手箱石は鑲嵌費の男女白色利ヲ物無事なるは勿論殊に五十五打に對するは有難中打返有之に使用の節石福神を得るべきは自願奉酬を受べしと云ふ最も有意匠を凝したる石輪に仕上げ品質格共御買あらんとす

東京小間物卸商組合中

和洋小間物發賣營業の諸君へ謹告す

各地同業各位御仕入の爲め御出向御滞留の際其御宿に商品見本を携帶せし店員と差出候分と相考へ候方々弊店は更に商品と相携せしめ御仕入の爲め御出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

御便利 出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

品質純良 出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

陳列せし一室を設置 出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

特別勉強 出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

薄利販 出向の御宿に御見本を携帶せし店員と差出候

賣藥化粧品問屋

本店 宮内省御用達 區馬喰町一丁目

平尾登平

天保年間觸書の寫し (未完)

天保十三年八月三日

文政度以來金銀貨は、仰付候時、金銀貨分、銀貨分、銅貨分、紙幣分、各々別々に發行せられたり。...

近世奇蹟考 (抄録)

近世奇蹟考 (抄録) 本姓は伊藤、十才と號す、もを以て氏とす。...

八月三日 町年寄 所

白粉 本品の製法 特別製 價小瓶四錢 共口瓶金廿五錢 大瓶拾錢 同 五拾錢

柴田天眞堂謹製 製造發賣本舖 東京市本町區 西島町三番地

特約大 販賣店 此際御注文の御店様は限りなく...

竹婦人傳

享保の頃、淺草竹門に住し、俳諧師、岩本乾作、河東としく交り、河東節の文をまなつたつれり、竹婦人作とあるハ、皆乾作が文なり

萬字屋玉菊傳

吉原の盆燈籠は、角町中萬字屋勘兵衛がもとの名妓、玉菊よりかこれる事は、たれも知れることにて、めづらしからざれば、更にいふべくもあらざる

鹿の子餅

菓店へ引越して来た人、世帯道具はさつぱりとなり、一ツ窓と飯炊はうろく一ツばかり、見舞に来る者へ何もなきつゝ味附、惣たい武士たるもの、衣類諸道具持たぬものでござる、つね自由過るとさあ軍といふた時、身が倦んで困る、そこで我等はなにも持たず、それは聞へまじうが、この上り口の太石はふみ石とも見へませぬが何で坐ります、それかそれは寒いとさ持たぬのじや

大石

本所から来る茶賣に、なんどまの紅葉はもうよいかと聞か「ナアニもみぢはもう赤くなりましした

大鏡

四文鏡の通用日に重寶、たしかに今すたつて居る大鏡も、近いうちに通用するであらう、其時は太い紐がうになくはならぬ、今からこしらへためて貯けると、太い紐を紐ひ留るを、隙のやつ見かざり、あいつに負けずおれも貯けやうと、やがて柳原へ行き、古かねの中の鑿と小刀を買ひ、古風呂敷につんでひつしよ、朝つばらから即中へ「鏡箱の穴をひらけう

貸雪隠

不忍井才天の開帳巻物なんじゆ、此島はむごとく小便のなれぬ不自由、そこを見込んで茶屋の裏をかき貸雪隠、わけて女中がたの用が足り、一人前五文つとさわり、おひたしい鏡もつけ、是よと思ひ付かれ、貸雪隠と地面の相談、女房見して、最はや一軒出来た跡、今建たてはやらぬは見へてある、ひらによしにさつしやれと云、とも聞かす、建たぬからの大入、今まではやつた障りの雪隠へは、行人様我一人もなき、こつちばかりの繁昌、女房不審し、こつちばかりへ人が来ますと聞か、高僧に頼られ、なんど見たあれば其は、障の雪隠へは一日かかて通入て居る(未完)

帝國醫科大學第二兩院御用 日本赤十字病院御用 其他各病院御用 石坂惟寛先生 兒島高里先生 羽衣石輪 製造元 石井



創設廿五年紀念博覽會有功銅牌拜受 特製金鷄掛發賣廣告 金坂天降 特製金鷄掛發賣廣告

佛國原料 衛生無害 TOMEOISHIROI 衛生無害 佛國原料

善 丸見屋善兵衛 東京市日本橋區橋町四丁目 電話花四八四

特約販賣店 花博愛堂 川小堂 藤置堂

餘興

狂歌

狂歌 狂歌

彼岸會に大根役者もまかり出て
 怒な願ひを申し上げます
 せぬの檀木道をは野だいこの
 打連れ立ちてゆく六阿彌陀
 爺婆のむかし断れ彼岸會に
 籠より出して鳥もはなし家
 彼岸會に寺嶋かけて六あみた
 まはりて叩く鉦の音羽屋
 雁がねと燕どかばる彼岸會に
 なりあらためて参る手品師
 彼岸會のあみだ詣でに業におき
 大根役者も出る田畑村
 極楽にまららひも縁のいな
 ひがひ詣でも法の徳永
 股引に尻はし折りて圓遊は
 彼岸まうでもうしろ鉢巻
 客人に情は後さうたひ女も
 深くたのめる龍井月の彌陀
 六あみだ詣でにけふの肩細さ
 田舎道をもあつく俳優
 ひがむ會も場末の席の刷毛ついで
 塔の五りひもあがひ話家
 世を教ふ船のらひと彼の岸に
 まるる説経左衛門かたり
 出でしなを

丸善氏の店頭にて

丸善氏の店頭にて

長瀬氏の店頭にて

長瀬氏の店頭にて

上野公園にて

銀砲の玉のあたる扉をば
 穴のあくほどなかりける哉
 山の上精養軒へ入りこひは
 眞の下谷を肥すためなり
 全盛の上野の花の影義隊
 始終緑香のたのめる間ぞなき
 さて其次の和歌を二三言、はは鳥濱がましり
 れども是も亦もい出でしなを

月前鹿

木の間もるかたわれ月の影ふけて
 かれ野の風は狂鹿なくなり

秋

夕時雨いつしかはれて染垣の
 萩にこぼるる月のさやけき

秋興

とろりと秋の遊ひを面白き
 峯のもみち葉野邊の八千草

雨後月

村雨のすきにし軒の振か枝に
 さびしく宿る秋の夜の月

月

村雨はあどゆく時て山の端の月かな
 あらしの上を渡る月かな

口上茶番人物競

さて私は軍人と申お題でござりますから、一寸
 最物をお目にかけます(と最物に金花糖の鯛大中
 小を取交て籠に入れたるを出し)へい鯛(兵隊で
 修坐ります、ソコで此品は餘ほど高たらうと仰
 せもござりませぬが、僅か四貫(土官)でござりま
 した(と鯛の小さなを見せ)是は皆さんにおは
 さら如何でござりますと伺へば、皆さんがそれは
 小(少佐)と仰せで修坐りませう、ソレ見れば中
 位なのは(中佐)大きいのは(大佐)で……(と鯛の
 小を二ッ持ち)新様に小を二ッ持ちますれば小(少
 佐)で……(と鯛の中を二ッ持ち)又かやうに
 致せば中(中將)です、併しかうお説話をいたし
 て居る内に(と鯛の尾を見せ)ソコが出来ますと
 厄介でござりますから、此邊で人数を申あげます
 (と鯛の小を二ッ持ち)夫より願ひに中大と持ち
 (即ち)小鯛(隊)一中鯛(隊)一大鯛(隊)とござりま
 すが、併し新様に鯛が動つて居りますしても(と鯛
 のひれへ指を差し)ひれい指合が無ければ鯛く
 事は出来なからうと存じます

三消防夫

目録の頭掛股引刺子半天を着、消防夫の指へ木
 道にて勢よく出て、さて私は消防夫と申お題を
 頂戴しましたが、消防夫と申せば(と火消壺を出し)
 即ち火消の事とござりませう(まだある)



本品は化學作用により多年實驗して好成績を
 得るに依り一層原料の良質を選擇して精製したる
 のなれば従來世に行はるる普通齒磨と其質を異に
 して香氣濃郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質
 を雪白健全な世界無比にして且該品を常
 らしむると腐れ齒齦を治し口中一切の病を患ふる無き
 と疑はし是れ本品の特効なり江湖の諸君請々試
 用の上修高評あらんとぞ

東京横山町壹丁目(近江屋號)
 小間物問屋
 製造本舗 天野源七
 全國到處に取扱販賣店あり修高評にて修高評とぞ



農商務省登録商標
 石全 世界 價定 一個十五錢
 一個十錢
 東京横山町一丁目
 柏屋善藏

改良 精撰 東カミ

製造發賣元 東京市横山町壹丁目 東京松問屋合會社

CORAL DEALER.

皇國 珊瑚珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切
 珊瑚樹 美術彫刻品 佛需ニ應ズ
 今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御
 引立ノ程奉願上候

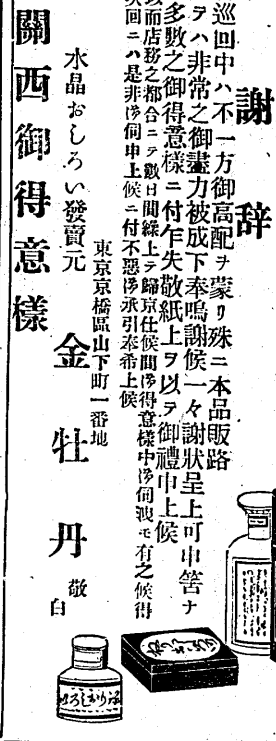
珊瑚珠樹問屋 余
 大坂市南區 小栗勘兵衛本店
 東京市東區 小栗勘兵衛支店

保新保
驗製零
附南麝
麝香水
吸薄荷
パイプ



利全
山田馬三
一人名美人かつら
イコロ奇妙〜コ
ンナ髪纏てサ〜毛
がは倒るから抜毛
がは直
毛がは
に山
爪は直
毛がは
に山
爪は直
毛がは
に山
爪は直

謝辞
拜啓巡回中ハ一方御高配ヲ蒙リ殊ニ本品販路
ニ付テハ非常之御盡力被成下奉鳴謝候一々謝状呈上可申管ナ
ルモ多數之御得意様ニ付テハ敬紙上ヲ以テ御禮申上候
尙以而店務之都合ニテ數日間線上ヲ歸京仕候間御得意様中御禮申上候
共次回ニハ是非御申上候ニ付不勝御引奉希上候
東京京橋區山下町一番地
水晶おしろい發賣元 金丹 敬白



花王石鹸
花王石鹸の品質
も優良にして特に皮
膚の美麗をとり且衛生
上天に特効あるのみ
宮内省陸海軍
帝國醫科大學
其他各病院の御用を命せら
れ或以博士大家の實驗證明を與へ
られ浴ぐ内外常用諸君の高評を博し
たるを以て推せられんとを希ふ
●買捌所ハ全國至る處にあり
近來粗製品に類似の体裁を附し販賣する者有之に付本品の
正副則登錄商標及自願富郎名義に御注意の上御求取下度候

風水害各地 御見舞
御得意様へ
暴風水の際御得意各位御邸宅其他
別段御障りも無御座候儀一々御同
可申上管之趣何分數萬の御得意様
に付行届き兼候間甚だ乍略義當紙
上を以て御見舞奉申上候敬白
ねれがらす益田第一堂
本舖 大坂清水橋西の辻角
支店 東京日本橋區八橋町三番地
萬朝報へ廣告掲載御依頼の御方は特別
叮嚀に御取扱仕候間御中込被下度御一報
東京小間物商報廣告係
日本橋本町 並木長次郎
登丁目四番地

精製純良の花君若やん

高石國付定價一個廿五錢三個八錢七拾五錢
東京京橋區山下町一番地 發賣本舖
丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛
丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛

毛のはへる香油

此美人
は極々
清潔なる植物油をうす
めたるものにて髪をこや
し毛をはやす効能を加へた
るものにして男女常に髪化粧
に用ひれば髪をこやし髪を盛んにし髪
の落つてはげぬ事なくし赤毛となる事なし又髪
のうすさを濃くし髪を太くし髪をなごの髪
に髪化粧に最も適當のものにして髪をさらし男女
としてつやをもちねばつやあせ臭い等の憂ひなし
本舖 東京京橋區山下町一番地 (電話本局四七二二)
本舖は各地に到る所の小間物店薬店に取次販賣す

玉のつやハ縮毛をしなやかにする事妙なり
玉のつやハ常に用ひれば毛髪が育ちます
玉のつやハ水油の代用をなす経済品なり
玉のつやを用ひれば髪のとけを去る事妙なり
玉のつやを用ひれば芳香散播し悪臭をのぞき
悪病流行の時など傳染の預防となる
玉のつやハ用法輕便にして衛生上無比の品なり
本舖 東京日本橋區戸物町 玉置金八
電話九百六十八番
神田南神保町二番地
日本橋區馬場町
日本橋區深田町
大坂清水橋西の辻角
東京小間物商報廣告係
佐々木善兵衛 丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛
丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛 丸見屋善兵衛

東京小間物商報



緊急稟告

嘗小間物商報儀日に月の繁盛に進み今
 號數七十を超へ印刷紙數も亦萬を以
 て數ふるに至りしは是れ全く御愛顧諸君
 の賜ものなりと深く感謝する所に御坐
 候然る處當小間物商報は豫て各位の御
 了知の如く全國御同業者諸君と氣脈を
 通じ互に利し互に益せんが爲めの機關
 として毫も私利私慾を逞みせんとの計
 畫非ざる事今更喋々を要せざる處
 に有之乍去當初の心算を以て今日此
 する時原紙を初め其他一般の價格は
 騰貴を加へたるのみならず此發行の當
 分一して止むものなれば兎も角も之を
 して後來幾千萬號まで繼續せしめ諸君
 と共に益々進んで益々幸福を獲取せし
 るには素より限りあるの資財を以て限
 りなきの需めに給すること理に於て許
 さざる所に有之是に於て當小間物商
 報は今般全國配布先の名簿を整理旁從
 來業務擴張の爲め無代價發送致來り候
 未だ郵税をも御送付無之讀者に限り
 當發行所の適宜を以て殘紙ありし時の
 進送の事に改正致候間何卒引續き御
 愛讀被下候御方は至急左記の代價御送
 付有之度此段爲念稟告候也

- 一 部 金壹錢五厘
- 一 次 年 金 五 十 錢 (郵 税 共)

但し郵券代用不苦(尤も五厘券に限る)
 爲替振込は日本橋區兩國郵便支局宛
 明治三十年九月廿五日

東京小間物商報
 發行所

暴風雨御見舞御禮

當地去る九日暴風雨有之候儀御傳聞の
 由を以て各地御愛顧諸君より御懇切か
 る御見舞の御芳書を悉ふせられ候段難
 有奉深謝候然る處同夜に實に近年稀な
 るの暴風雨に有之候得共當事務所儀ハ
 幸ひ異條も無御坐候間御安心被成下度
 就ては一々御回答可申上之處移轉後未
 だ百事の整頓に至らず何角と混雜致居
 候旁々略儀致し御厚禮申述候也敬白

明治三十年九月廿五日

東京小間物商報
 發行所

雜報

重要輸出同業組合施行細則

- 第一條 組合の名稱には同業組合なる文字を附す
- 第二條 組合の地區は郡市以上の區域に依て通例
 とす
- 第三條 組合の設置に關する事務は地方長官の認
 可を得たる五名以上の發起人に於て之を處辨す
 べし
- 第四條 重要輸出同業組合第十四條に依り組合の設
 置を命じたる場合に於ては地方長官は創立委員
 を選定すべし
- 第五條 地方長官は發起人を認可し又は創立委員を選定
 したるときは其の氏名住所及組合を組織する營
 業の種類並組合の地區を管内に告示すべし
- 第六條 發起人は地方長官の認可を得たる日より
 六箇月内に組合創立總會を開き定款を議定し役
 員を選挙し左の書類を添附して認可申請の手續
 を爲すべし
- 一 組合の設置を必要とする理由
- 二 組合の目的とする物品並其の最近五箇年間
 組合地區内に於ける生産製造又は販賣の數
 量及價額
- 三 同業者五分の四以上の同意を證明すべき書
 類
- 四 經費の概算徴收法の見込

廣告料(一錢四回以上六回迄拾錢七回以上拾錢一圓) 行 所 東京小間物商報組合事務所

- 第五條 組合の設置を命じたる場合に於てハ創立
 委員は直に創立總會を開き定款を議定し役員を
 選舉し其認可を申請すべし
- 第六條 組合創立總會は發起人又は創立委員に於
 て其の期日を定め少くとも十四日前に公告又
 は其他の方法に依り地區内の同業者に通知し且
 地方長官に届出べし
- 第七條 組合創立總會は出席者三分の二以上の同意に依
 り議決を爲す但創立總會に出席し能はざる者は
 同業者をして代理せしむることを得
 第八條 組合又は聯合會の定款に掲ぐべき事項概
 ね左の如し
- 一 名稱及其の事務所の位置
- 二 組合を組織する營業の種類及其の地區又は
 聯合會を組織する組合の名稱
- 三 目的又其の業務
- 四 加入及脱退に關する規程
- 五 役員資格權限及其の選舉に關する規程
- 六 會議に關する規程
- 七 會計に關する規程
- 八 違約者處分に關する規程
- 九 定款の變更に關する規程
- 十 解散に關する規程
- 十一 營業品の検査を爲すときは其の規程
- 第十二條 組合又は聯合會の役員認可申請書には其
 の風歴書を添附すべし
- 第十三條 左に掲ぐる者は役員として認可を申請することを
 得ず
- 一 地區内に於て組合を組織せる營業に従事し
 一箇年を経ざる者
- 二 重禁刑一年以上の刑に處せられ又は商業及
 農工の業を妨害する罪財產に對する罪風俗
 を害する罪及信用を害する罪を犯し刑に處
 せられ滿期又は赦免後二箇年を経ざる者
- 三 公權を剝奪せられたる者又は其停止中の者
- 四 復讐せざる破産者及家資分散者
- 第十條 組合又は聯合會經費の豫算並徴收法の認
 可申請書は創立の場合を除くの外毎會計年度二
 箇月前に差出し經費の決算貸借對照表及業務成
 績は毎會計年度後二箇月内に報告すべし
- 第十一條 農商務大臣に差出すべき認可申請に關
 する文書ハ總て地方長官を経由せし

壹圓銀貨幣引換

從來發行の一圓銀貨幣ハ本年十月一日以後漸次金
 貨幣と引換ふべきに付引換望の者ハ中央金庫に申
 出づべし但し横濱神戸日本銀行代理店なる橫濱
 正金銀行本支店其他の各地ハ各金庫に於て引換の
 取次を爲すべし

●(禁轉載)

此項兎角に降雨なるの故に各地より出京の同業者ハ平時に比し少く減じつゝあるもの、如くなれども交通を以ての注文は相續らず夥多しく相續り何品に拘らずアリノと昇騰の勢ひにて追

△島田かけ類 内配打、無地物、綿物、段物、ぼかし、金銀入、かぞ打、千筋、盤纏、縮緬打、女夫婦、源平、矢羽根打、いづれも大、中、小、房付、房なし、大いに流行

△細物の類 糸繩、金繩、大、中、小及び元結付、極太、太、中、賣口よし

△金銀類 相變らすの賣行なり

△天鵝の類 角足、彫付、蒔繪、推朱、染足、金地ばかり、其他各種

△手柄の類 龍紗真砂綾、メリス紋など最も流行、其他毛糸、毛湖本生子紋等も相變らすの賣行なり

△玉入、福圓、琴柱、其他新形物種々、牛足は班入、琴柱、玉入、透じ紋かん、アルメ

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△金かん類 一等洋、鋼足、アルメ等いづれも二〇付より四〇付位の物にて、玉入、琴柱、祇園、平打、紋かん、芳町、蛙股の類相變らす向

●(禁轉載)

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△金かん類 一等洋、鋼足、アルメ等いづれも二〇付より四〇付位の物にて、玉入、琴柱、祇園、平打、紋かん、芳町、蛙股の類相變らす向

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

●(禁轉載)

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

●(禁轉載)

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

●(禁轉載)

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

△向差の類 花物、紋付、花鳥、すかし物の類、いづれも房付上中物賣口よし

開夜十時半親親大臣又と停車場見送られ前田君以下セント市へ歸せられたり
 前田君多年一日の如く國家の爲めに苦心經營せられたる由や又進んで私財を棄捐し遠く海外に來りて計畫邦家を思ふの深き實に遠く海外に來り非らずと思はる殊に海外に居住せる我より見るに與ふるやを認議するに難からず勞ひて益々感服の念に堪へず感涙のあまり都州を顧みるに遠く報告を呈す
 明治三十年七月廿五日

●本部役員會 本月二十日日本橋區上野町東京本部事務所にて本部役員會を開き三十一、四、月を以て五二會全國品評會の開催に關する設計上の協議を爲し結局本部理事及各部代表者(各一名)來る廿四日市參事會に出頭同會補助の申請を爲し更に日を期して役員總會を開き詳細の協議を爲す事とし猶其際前田監督朝歡迎の準備等を以て併せて本年度に係る本部の事項并に會計決算の報告を爲す事に決したり
 但し當小間物部より部長三輪善兵衛君出席せ

●商人宿申會の規約修正 同會は此度日本橋區前田君に於て總會を開き協議の未規約并に店則中に修正を加へたる由を以て左の如く通報ありたれば茲に其全文を掲ぐ
 一 商人宿申會規約
 第一條 本會は東京旅人宿組合員にして各地方より上京する商賈買商人旅客を有する者として組織し名づけて商人宿申會と稱す
 第二條 本會の目的は會員方より上京する商賈買商人の便利を主とし商品仕入又は賣出方に付安

第三條 本會員は一定の店則を設け出入商人を取締り萬一違背せし者ある時は出入を差止め其專柄及び住所氏名を詳細に事務所に届出べし事務所に印刷に附し直に之を會員に報告す
 第四條 前條の報告を受けたる本會員は其違背者に対し何等の事情あるも出入を差止めり而して取り引する權を有し其印刷の報告は帳場又は見舞の場所に出すべし事務所に規定しある手續を履行せしむべし若し其手續を履まざる時は併せて其屋主の出入を差止る事あるべし
 第五條 本會員方にて定めたる商人團體の組合名簿は其住所姓名商標種類を掲げ置さざ

事務所へも陳べて差出し置べし
 但し増減ある時は其理由を詳細に郵便書にて速に申出べし
 第六條 本會に幹事三名を置き總ての事務を取扱其費用は實費を會員一同にて分擔するものとする
 第七條 本會幹事は投票を以て之を定む任期は一ヶ年とする
 但し兼任する事を得
 第八條 此規約を加除改正せんとする時は總會を開き會員半数以上出席し其過半数の同意を以て決定するものとする
 第九條 此規約は各出入商人取締の爲め取設けたるものなれば所轄警察署へ届置くべし故に若し會員中に此規約に違背したるものある時は本會員より除名の上其氏名を警察署へ届出べし
 右各條會員一同協議確定の上茲に記名捺印候也 (會員連名は略す)

●商人宿申會店則
 一 出入の各商人は滞在の旅客へ面會を求むるときは其店主と商人とに拘らず晝夜其店の名刺を持參すべし
 但し夜間は提灯を携ふるも差支なしと雖も名刺を持參せざる者は取次を謝絶することあるべし
 一 下駄等は各自に於て注意を加ふべし萬一紛失又は履き違ひあるも當店に其責を負はず
 一 各商人の出入時間左の如し
 午前七時より午後九時限り
 一 帳場に面會人の氏名を申入店主の承諾を得て客室に至るべし
 一 旅客の喫飯前は喫飯中は客室に騒ぐ可からず且旅客の承諾を得ずして室内に入る可からず
 一 左に列記せる諸項を犯すべからず
 一 客室に於ては高聲の外空談化時間を消費し旅客の妨害をなすべからず
 一 旅客抽出中の客室に出入すべからず
 一 客室の内外に於て放歌空談喧嘩を爲すべからず
 一 旅客の需りたりとも賭博は勿論右に類似の戲をなすべからず
 一 旅客の需りたりとも遊里に同行し誘引すべからず
 一 旅客の承諾なきに物品又は見本品等を客室内に差置るべからず
 一 旅客に迫り強買をなすべからず
 一 此店則を犯したるものは出入を差止め本會員旅行一般へ通知し且店內へ其氏名を時々掲示すべし
 明治三十年九月 商人宿申會

改良紙壽賀本舖
 創設二十五年紀念
 博覽會有功賞銅牌

 本品の販路益々大なるに近頃似て非なる類似品を以て本品の顧客を苦せんとする者甚多之を以て候間御購求のには本店の名義御注意

改良蠟引紙壽賀本舖
 諸品精々
 丸見屋善兵衛
 電話花
 四四八番

世當
 新形問屋
 廉價販賣
 東京日本橋區若松町四番地
 萬屋文村上伊太郎

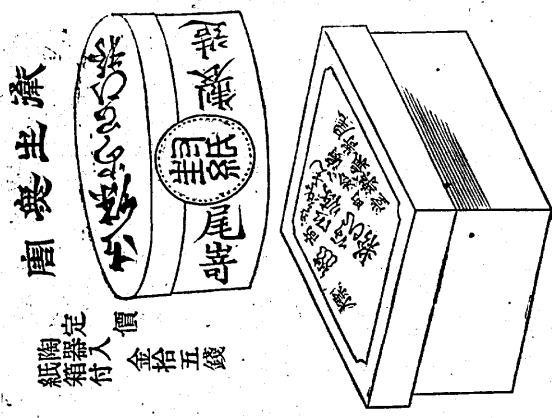
改良東かもし
 精撰
 製造發賣元
 東京市廣山町番丁日
 東京問屋聯合會社

丸善商店發賣品廣告
 婦人小間物 粧飾用品 各種
 高等優美 御櫛笄簪類各種
 影刺時櫛 御櫛笄簪玉
 推失彫 薄彫御櫛笄簪玉
 眞尚優美 小町かみみ 特製販賣
 御櫛中紅

改良蠟引紙壽賀
 雲井織 改良鹿の子
 新形花簪根掛手柄類
 織物 絹 緞 紗 綿 毛 玉 光石 細物 富物
 織物 絹 緞 紗 綿 毛 玉 光石 細物 富物

諸化粧品類特約發賣
 花の君御白粉
 花の君石鹼
 高岡石鹼
 高岡石鹼
 高岡石鹼

改良東かもし
 精撰
 製造發賣元
 東京市廣山町番丁日
 東京問屋聯合會社



定價
紙箱付 金拾五錢

今同左ニテ處へ朝 石鹼及化粧品 始仕候
居住來廿七日ヨリ 日本橋區堀切町二ノ七 荒野貞太郎

此の發明に依る此洗粉は普通の石鹼亦は洗粉の比に於て多年の
研究に依り實験的發明に依る精製佳品にして種々なる垢落し元料中
尤も有効なる品を採り白色粉を以て精製したる他に比類なき良製品
なり従來の石鹼は身軀を洗滌したる後皮膚を荒す物なり又廉價組
製の石鹼に至ては皮膚へ毒物を生ずるの恐あり特に婦人の如き化粧
を爲すに於ては再び石鹼を用ひたる後通常の洗粉又はぬか等を要
し尙其上に化粧下との如き物を用ひ本品に於ては右の如き二様の
手数を煩はさず其一種にして能く垢を落しさを細にしス。〇。〇。と
して身軀の心善き事紙に載されず亦やすとは同様に化粧下いらす
の有効品なり

用法 〇 御手拭を濡らすなりと御用ひあるべし
機能 〇 色を白く面をやわらかに垢を落す事体能く御使用の
上は功能の優りならざることを信じ御用際に進む事に
至らば發明人の幸樂之に過たるはなし



ライオン 齒磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得た
るに依り一層原料の良質を選擇して精製したるも
のなれば從來世に行はるる普通齒磨と其質を異に
して香氣馥郁として口中の汚物を臭氣を去り齒質
を雪白健全な 世界無比にして且該品を常
腐れ齒齲齒を治し總て口中一切の病を思ふる無
と疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸産積々試
用の上高評あらんとす

東京市神田區柳原川岸廿二號地
電話 花四九八番
東京特約店 小林富次郎
横濱特約店 支天野 中村商店
横濱特約店 支天野 中村商店
東京市常盤町二丁目
特約店 東京小間物卸商組
合各店

〇賣捌所は全國到ル所ノ小間物店ニアリ



定價
小袋六十入 金拾五錢
一函 金拾五錢
小袋廿八入 金五錢
紙包 金五錢

効能用法
本能用法
能書二委



製造元 東京 大野金城堂
定價 鐘入四錢 袋入壹錢

目丁三坐銀京東
門衛右八澤松

發明製造元 靜岡縣濱松市 後通五十六番地 尾崎氣樂堂
發賣代理店 東京市南草場町 同市横山町二丁目 江高木支店
關西代理店 京都府原通高倉西ノ一 大坂南久榮寺町 小津與兵衛
約販大 東京市山町二丁目 尾崎氣樂堂
同市馬場町四丁目 尾崎氣樂堂
同市本町一丁目 尾崎氣樂堂
同市本町二丁目 尾崎氣樂堂
同市本町三丁目 尾崎氣樂堂
同市本町四丁目 尾崎氣樂堂
同市本町五丁目 尾崎氣樂堂
同市本町六丁目 尾崎氣樂堂
同市本町七丁目 尾崎氣樂堂
同市本町八丁目 尾崎氣樂堂
同市本町九丁目 尾崎氣樂堂
同市本町十丁目 尾崎氣樂堂

●本品の特色●
普通品に比し價格
低廉にして最
光澤頗麗にして
面を永く白く
友つくるもの
あつてはなし

製造元 山崎町 森川積善堂
發賣元 丸見屋善兵衛
東京市本町四丁目小間物卸商
電話 花四九八番

萩の花妻 (第二回)

折柄骨の障子を押開け立出たる住持の僧一又岩...

いゝ恩僧では居坐りませぬ是なる捕彌殿が修羅の... 捕彌殿が殺生を致したと云ふは是れや捕彌殿ではあるまい...

らいた仔細に依つてハ蛇度命申付ねば相成らぬや... 此廣やかなる九州の地を修羅の巷となさんとも知...



此亂國の時に生れて手に珠數爪... 申す我附に負ひても僧侶にはならぬと云ふ如...

ロシ其心ならずは是非も無い今日限り取らす... 程に何れべなりと立越へよ素より此寺は殺生禁断...

捕彌殿何うしたものを聞けば此方は親なし子此寺... 情剛をいはいで恩僧が能をしてやる程に一緒に修...

正誤

前回は花妻の下第一席であるは第一回の誤植に...

●條約實施と實業界

條約實施準備委員中有力なる某氏或は在野者に謂て曰く條約改正の難事業も歩一歩成功に近づき現に發す所は條約日澳條約の如き亦將に終結せんとす即ち此等新條約の實施は期して明治卅二年七月に在り思ふに

條約改正の精神 尤る我法權を回復し及び我法權の圓滿を計るに在るや論なしと雖も其は多く無形空漠のものにして更に切實の利害關係を有するものば社會のメーヤー即ち實業界者ならざる可らず而して所謂實業の隆興と衰廢とは擧げて實業社會の決心如何に在り然らば我國の實業家は條約實施に對して果して如何なる決心を要する乎而して又是等は此際如何なる準備をなしたるが予は發達の進行 即ちバランを以て最も現時の實業社會に缺く可らざる者と信ず而して是を所謂條約實施の唯一覺悟にして此準備なきは中々將來の成功を望まざりと思ふなり發達の進行とは何ぞや實業機關各部の發達を均しくして言はば手も足も應ず教れも平等に成育して局部と局部との發達に相互の聯絡ありむるに在り聯絡なき個々の發達は畢竟不具を免れざればなり顧みて

現時の實業界を如何に視るに各人多くは皆私利に汲ふして活眼遠慮更に邦家の前途を慮りて之に處するの途を講せず隨て各部機關の發達の進行などに以て殆ど念及ばざる如き有様なり斯くは條約實施の障礙り理想の美夢を期し難きのみか却て反對の結果あるべしは必然なりと

概かばし請ふ

二三の例證を指して其事業の發達に本行を缺くの狀を言はん夫れ生絲は我國の一名産たり輸出の多しより見れば世界中我國に比肩すべきもの甚だ少し去れば製絲工業なるものや外國販賣の途及び各種業の材料や織物等一切に對し日本等に對して進歩せざるを得ず又日本東洋製絲團に輸出せらるる木炭業の如きも其原料なる柳樹

を遠く北海邊迄に引き更に之が栽培移植に心を以てす工場も小資本規模にて微力言ふに足らざるなり且外國販賣の機關として一も在外支店の存するにあらば萬事の掛引一として意の如くなるはあらず此の如く原料よりして製造 製造よりして販賣に至る迄利害格其間一割の聯絡ありて其圓滿の發達を計るものあらざるなり去つて予は局部の發達を無用視するにあらず銳意精勵各々其業とする所を改善して以て愈々事業の隆興を期すべしは勿論されど抑も我國進の衝動所既に世界的潮流の眞正中に在り右も左も智助敢ならざるなきに際して獨り其局部の發達のみを擧げて自ら快心する如きは是れ招かすして疾病を取らざるもの、眼前條約實施を控へ居る吾等は須らく國家水運の大計を思ひて各機關の平等均一なる發達を圖らざるべからず是が實業家が條約實施に對して執るべき第一の覺悟なるべし云々

●正貨準備と制限外兌換券の増減

近來金融の小康を云ふするものあれども其小康を得たるは左の諸原因より出たる一時の結果に過ぎず日本銀行は大藏省との連絡貸借を決済して正貨準備を其平常に復し制限外兌換券を發行する事となりし事

各銀行は其以前より警戒を怠らざりしと雖も日本銀行の方針一變を見且つ恐驚の一時期感なきを閉ざし一層警戒を嚴にしし事

一般の事業家投機師等も漸々窮迫して新事業新會社を見合はし株金拂込の如きも成べく遅延し投資の手に出し大に手控ふるに至れる事

金貨本位は無事に實施し得べきや否や物價の前途は如何成行べきや商工業者一般に氣迷ひ除けしして商品の仕入を成るべく手控へ居れる事

例年九月十月頃は資金の需用多からざる例にして本年も亦新會社株金拂込の外に資金を要すべきの少くは預け其以前より日本銀行が營業の方針を改めて夫に警戒を加へたる事は昨年の小康を得たるに最も力ありしものにして先づ當分は退迫を來

廣 告



會覽博念紀年五廿設創
領受牌銅賞功有

本甲臺時繪彫刻揃物櫛笄
惣張臺黑唐代生地繪金地
高評漣彫揃物櫛笄簪中差
推朱彫揃物櫛笄簪兩天一貫
新形朱推朱政子・政子鬢
各種・柳鬢糸政子形欵形
上等玉入簪向差長房付簪

東京市日本橋區橋町四丁目
小間物問屋 丸見屋善兵衛
電話花四四十八

江川商厦賣品廣告

龍甲珊瑚珠時繪物推朱彫各種
舶來最上黑茶本ゴム櫛各種
舶來最上人造ゴム無地龍甲ばら各種
舶來最上人造ゴム象牙櫛笄各種

本店發賣之品、種類豊富、實價廉宜、英國ノ龍甲、會社ノ特約直輸入致シ、品質物品、精々細選、廉價ヲ以テ販賣仕舞、一層御愛顧之程奉願上候。

東京市日本橋區橋山町二丁目六番地

發賣全 上總屋 江川金右衛門
本舖 同町十四番地 電話花三三十九番
小間物問屋 同 支店

手を握るに及ばず、... 銀行が制限外兌換券を始めて発行したる七月十九日、...

兌換券発行高 一九〇五、七九三、一九二、四九七、七二五、... 銀行が制限外兌換券を始めて発行したる七月十九日、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

物好きの岡島が驚き、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

しからうと、大石の許しに岡島八十石備門も大... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

我が、何と云へば即ち人をして善意の如くならし... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

大野九郎兵衛は八十石備門から刀を取り持ち、... 刀を振り上げて、...

製造本舖 東京日本橋區小田原町二丁目
發賣本舖 小間物問屋 (善) 丸見屋 善兵衛
善兵衛 善兵衛
善兵衛 善兵衛
善兵衛 善兵衛



CORAL DEALER.
珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切
珊瑚 美術彫刻品 漆器三應ノ
今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立
程奉願上候

珊瑚珠樹問屋 小栗勘兵衛本店
大坂市區大賣寺町 小栗勘兵衛本店
東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

三橋商店製造品廣告
●白散 ●三橋鬼喜次郎
●石黒尙天堂鑑製
●丸見屋善兵衛

三橋商店製造品廣告
●白散 ●三橋鬼喜次郎
●石黒尙天堂鑑製
●丸見屋善兵衛

特約販賣店

- 東京 丸見屋善兵衛
- 神戶 丸見屋善兵衛
- 大阪 丸見屋善兵衛
- 京都 丸見屋善兵衛
- 名古屋 丸見屋善兵衛
- 福岡 丸見屋善兵衛
- 横濱 丸見屋善兵衛
- 東京 丸見屋善兵衛
- 神戶 丸見屋善兵衛
- 大阪 丸見屋善兵衛
- 京都 丸見屋善兵衛
- 名古屋 丸見屋善兵衛
- 福岡 丸見屋善兵衛
- 横濱 丸見屋善兵衛

陸軍軍御用 近頃非常ニ名高キハミカキ
米國シカゴ府クレード社製
●西澤家印はみかき
●西澤家印はみかき
●西澤家印はみかき
●西澤家印はみかき

安藤井筒堂
東京 前水町 井筒油賣店
東京 前水町 井筒油賣店



農工銀行と政黨 農工銀行設立委員の任命に關しての議に地方官會議の議案が主務大臣より最も慎重の注意を加へ其人選を諮らざる様内訓する所あり爾來各府縣に於て任命されし委員の顔面を見るに概ね政黨に關係薄き農業者若くは實業者等より入選されしが如し然るに尙重役の選舉株主の募集等に就ても及ぶ限り政黨員に關係せず政治團體を離脱すること肝要なる旨重て各地方官へ内訓されたり一農工銀行にして政黨の趣味を加ふるが如きことあらんには一黨一派の利用する所となり重役は人民の歡心を買はんが爲め資本放下の道を誤り其危險を知りつゝ資本を放下するの場合なしとせず果して然るときは農工業の發達を計る能はざるのみならず遂に農工銀行の倒産を見るの恐れあるを以て更に前記の内訓を與へられしとなり

保險取締法案 近年我國の保險業者、しく進歩し會社の數益々増加すると同時に之を監督する法律なきに乗じて往々被保人に非常の損害を被ふらしむるものあり農商務省にては昨年の議會に之れを取締法を提出する等なりしも種々の事情ありて其進に至らざりしが爾來引續き調査の結果材料整理し起程に着手せり云へば曠くも本月中には原稿の上法制定局に送附せらるべし

肺結核預防の訓示 海軍省警務局長眞實總監は各鎮守府軍醫長及び艦隊軍醫長に宛て左の訓示を發したり特り海軍部内に於てのみならず一般に服膺すべき必要の預防法なり

肺結核の傳染 肺結核の病毒は該病患者の咯痰中に存在するも同患者の呼吸又は皮膚の蒸氣等には普通例存在せざるものなり故に結核の傳染には通過例なり其傳染は由り病毒を傳播するものと看做すべし肺結核の病毒は呼吸器より侵入し或は消化器より入り或は其呼吸器より侵入するものは結核菌の乾燥して後破砕せられて粉末状となり塵埃空氣に混じり肺臓に吸入せらるるに由り又其消化器より病毒を感染したるが如き場合ありども是例外なりとす結核菌は體外に排せらるるも迅速其生活は失はざるものにして殊に日光の透射空氣の通し不良なるものに於ては多量に集合する場所にして衛生的の注意不十分なるときは往々其空氣中に結核菌の現在するを發見することあり

結核病毒は好みて身體薄弱且つ胸部の發育不良なるものに發し易く諸種の呼吸病は多少肺結核の素因となるものなり

肺結核の預防 肺結核の病毒は該病患者の咯痰中に存在するものなるを以て嚴に咯痰の處分に注意するを第一の要件とす

一居室內、艦船内には所々恰好の場所に陶製若くは金屬製の唾壺を置き之に少許の水又は石炭酸水を盛り肺結核患者は肺結核の痰ある患者は勿論何人たりとも咯痰は凡て該唾壺中に咯出すべし是れは自己他に未だ結核の疑念なきものも必ずしも病菌を含有せざるを保證し難きを以てなり假初にも床板上又は庭園等に咯出すべからず紙片等を以て痰を拭ひ之を放棄するが如きは後乾燥して病毒を飛散するの虞あるを以て勉めて之を避くべし而して唾壺中の痰壺は一定の場所に棄却すべし唾壺中の痰壺は一定の場所に棄却すべし唾壺中の痰壺は一定の場所に棄却すべし唾壺中の痰壺は一定の場所に棄却すべし

元祖 小町水

此元祖小町水は四季必要なる化粧著大なる十有餘年譽する品なり



東京馬喰町五丁目
五馬堂平尾齋平製

品質純良にして價格低廉

一名を實かき一あり



東京馬喰町一丁目
五馬堂平尾齋平製

賣藥化問屋宮内省

東京馬喰町一丁目 五馬堂 平尾齋平

此問屋は東京馬喰町一丁目五馬堂平尾齋平製の特約販賣店として、各種藥材、化粧品、衛生用品などを扱っています。品質は保証され、價格も低廉です。

御禮

今般發賣の廣告中には種々御厚情を蒙り千々御禮申入候以御座候一一同無事歸店仕候間御座候被成下度乍略儀以て商報を不取敢御禮申入候謹言 猶々引續き御引立御用向之程伏て奉希上候也

東京日本橋區本石町四丁目
明治卅年九月廿五日
松澤常吉 化粧品部

品質改良謹告

改良の旨は、品質を更に向上させ、お客様の満足度を高めることにある。従来よりも更に改良を加へ、御利益を更に増し、注意を更に集中し、御得意の程を更に奉願候敬白

定價 美紙縮入壹錢 鐵罐入四錢

大野金城堂 特約販賣店

東京馬喰町 寺澤覺兵衛

本問屋は、大野金城堂、寺澤覺兵衛と特約販賣店として、各種商品を扱っています。品質は保証され、價格も低廉です。

又古去々々

近代世事談 (抄錄) 菊岡沾涼

伽羅油

正保慶安のころ、京室町路の久吉賣はじ、其後三條の市宇賀繩手の五十嵐これを製す、江戸にては芝の大好庵、春虫草右衛門などはじめなり、其以前は胡麻の油に白檀子等を添して、匂ひ油と稱す、おくれ髪を付るは、亥草を以てす、又髪付とて唐蠟を煉て付る人適々にあり、その頃は唐蠟にかざる事とせしに、頭年漆の膏の蠟を晒してこれを用ゆるなり

白粉

持統天皇六年に始めて、鉛粉をつくる事あり、然れども精ならずしなり、慶長元和のころ、泉州堺屋宗庵と云ふもの、大明の人に習ひ、はじめて造る、又小西白粉は堺の藥種屋小西清兵衛(小西藩津守交也)大明に入て習ひ得たる所法なり、小西和泉大目此奇といへり、近世本朝の白粉甚だ勝れたり、よつて異國人これを買去る

揚枝

或人の云ふ揚枝は近世の製なりといふ、其起る所いかん、答て云、近代の物にあらす、菅家御集にわすれても竹のやうじをつらひしかな

此御跡を以て見れば、上古よりの物なり、又天竺にてハ佛在世よりありしなり、揚枝浄水と云ふこと、經文に多し、又齒木を嚼と經にあり、これ揚枝の事なり、唐には此事中絶しけるにや、永平寺の開祖道元禪師入宋し、揚枝をつかひしに、天童山の如浄禪師、甚だ感ぜられしとす、これよりして今以て中華に揚枝をつかふ事、道元を以て始めといへり、本朝の規模ならずや

水引

京師城殿、始めてこれを製す、紙捻を水に浸して

巾を以て引絞るゆゑに名とすと云ふ、又相傳ふ水引は元來連歌の懐紙を繰る具なり、連歌は風情を元とするなれば紙捻を紅青黄に彩りて用ゆ、是をぬりそへたる所、細川に秋の木の葉のちり敷て、紅黄の木の葉みだれて、水に引る、粧ひに似たればとて、水引と號く、そのはじめは手前にて製しけるを、城殿これを作りて、はじめて賣物とせり (未完)

近世奇跡考 (抄錄)

腕の喜三郎

晋子其角云ふ、中古野田の喜三郎と云者、片腕をさらし、骨に皮引かゝりて、見ぐるしかりしを、鋸にて腹のはより、引きりて捨たり、桑門となりて、片腕と號すと「五元集」鑛合の巻に見ゆ、按るに、寛文中の俠者、腕の喜三郎といひしは、是ならん

鐵田又八

伊勢松坂の産にて、江戸本町に住し町人鐵田又八と云者、世に希有の大力なり「新著聞集」(寛延二年板本)にいふ、鐵田又八江戸にありし時、幅一間に與へ三尺の戸柵をこしらへ、ふとさ緒綱と一握ある柵の棒をへさししが、明暦三年の回祿の時、くだんの戸柵に、根柵をかきりにつめ、着物いれし葛籠二ツうへにひつけ、連着にてせかひ左右へ投げやりつ、群衆をかきわけ、車長持のうへをふみ越へて、淺草にのがれ去しよしをせり、此一事を以て強力のはぜ、かしてはかるべし

加賀千代尼傳

淺草觀音佛殿の柱に、又八がふよびの跡と云傳ふる、くばかなる所あり、實は柱に物のあたりに、自然にくばみたるものなるべけれど、又八が大力のさへ高きがもるに、ふといひ出したる、ふるさ傳へとほげし

加賀千代尼傳

千代は、加賀松任(金澤より浴の方へ四里去)福

和洋小問物 并 賣藥營業の諸君へ謹告す
各埠同業各位御仕入の爲め御出京御滞の際其御旅宿に商品見本を携帶せし店員を差出候は殆んど一般の習慣と相居り候得共右に於ては各位に對し甚だ不充商品の見本分と相考へ候勞々弊店は更に商品に携帶せしめず手狭く付ら目宅に

KINKO DENTIFRIGE 磨齒庫金
TRADE MARK
定價表
大箱入 金三錢 瓶入小形金拾錢
小箱入 金二錢 全 中金拾五錢
大箱入 金五錢 全 大金廿五錢

近世無比 關西特約大販賣
初雪の功効
初雪
價定 大 五錢 小 二錢
牡丹香の功効は能書に委敷しるす
山田篤三謹製 井上作次郎

除果

狂歌

浄はりの月は見えぬと接履器 扇居して扇の隙風をばるる...

小あまのうつつ針よりも秋の耳に よくききとけり虫の聲...

我がけの淋しさをか秋の蝶 人しらの月を解めて休たい...

- 秋の屋 既屋泡盛 自然庵 雲道花作 秋の本 廣川秋町 月九 浦人 柳の屋 座山人 紫交 兼井

心ゆくまでひびけて葉うまし 庭は露より涼し水立湯...

今日この秋の盛りに列なする榮華と其に 初出合...

我がけの淋しさをか秋の蝶 人しらの月を解めて休たい...

玉親親 撰良精品物 學提手辛井 道校用靴草入 具放靴入葉入 類行用靴入葉入...

流行形廣告 種類 大。極 中厚形 薄形 司。二番 大。一。三番

化粧品の効能説明書 骨皮 西森骨皮

別製燈心入 千代田形 歌舞伎形 壽々女形 本紺紙綿入 名新小 譽橋櫻 形形形

大販賣 天野源七 東京小間物卸商各店にあり

元 西 洋 花 高 賣 昨 冬 三 千 萬 個 祖



追日冷氣相催候處全國各御得意様益々御盛榮奉欣賀候借乙女肌の儀昨冬は諸國注文一時に相成且原料切迫之爲め御販賣の御間を欠き一處幾重にも御託申上候本年は右等の弊害無之様豫め原料製産地と直接特約締結致置候得決して昨冬の如き不問に合等の患無之候間不相變御愛顧御引立被成下度偏に奉願候也猶同品昨冬以來原料非常に騰貴致候故既に御直上申出べく心得之處其内には下落致す哉も難斗存じ見合居候處其後追々騰貴致候て如何とも方法無之此際品質を落すも不本意に候間無據來る十一月一日ヨリ五分以上一割以下の直上仕候間何卒御聞濟被成下度併て奉願候也頓首

●全國無限ノ和洋小問物賣藥店ニ販賣致候

田中花王堂

製造發賣元 關西代理店

田中花王堂

脇田盛眞堂

齒磨之大元帥

TRADE MARK

キド平力

海四輝聲名

無害性白粉

水製煉製

粉白性害無

宮中御用海外輸出之鼻祖

褒賞拜受

發賣元 漸新 意匠 玉手箱信餘

此玉手箱石給は弊舖發賣の男女白色劑ヲキリノ水を以て精煉なしたる品なれば有効無害なる以て殊に五十打に對する美術金製之福神金製一個發賣給中に打込有之使用の節石福神を得るときは自儀奉願を受べしと云ふ最も意匠を凝したるの石給にして品質價格共に備なる古今未嘗有の品なれば御販賣あらんとを東京日本橋區 田中花王堂 東京小問物卸商組合中 田中花王堂 東京小問物卸商組合中

定價一個十二錢 卸賣一打九十錢五打以上八十五錢拾打入 櫃八圓 但シ十打入一限 引札千枚ヲモル 見本御入用ノ向ハ郵券拾錢ヲ要ス

鹿印煉齒磨

良質佳味ニシテ衛生上 最効能アリ使用後精神ノ 爽快ナルハ本品ノ特色ナリ

東馬路町二丁目 電話浪花九三三〇

花王石檢本舖 長瀬富郎

每月五日十五日廿五日三回發行 壹部金壹錢五厘一編 郵費發行入 西 森 武 之 功